

令和2年度 滝沢地域社会報告書

Takizawa benchmark report



はじめに

◆「第1次滝沢市総合計画」は、市民のみなさんの協力と参画により、一緒に策定しました

平成27年度からスタートした「第1次滝沢市総合計画」の策定にあたっては、「滝沢で暮らす幸せ」についてのアンケート、市役所幹部が市民のみなさんと直接お話をさせていただく場である「市政懇談会」での「幸福に関する」アンケートおよび市内各種団体や全小中学校でのグループインタビューなどを実施しました。

このような手法を取り、市民の皆さんが滝沢市の生活の中で何を想い、どのような「幸せ」を考えているのか、そのために市行政（市役所）は何をすべきなのかということを念頭において、多くの市民のみなさんの協力と参画をいただきながら、市民のみなさんと市行政が一緒に策定しました。

◆本報告書は、第1次滝沢市総合計画のベンチマーク^(注)です

「第1次滝沢市総合計画」では、その使命を「住民自治日本一を目指した、市民主体の幸福感を育む環境づくりの実践と、安心して暮らすためのセーフティネットの堅持」と設定しています。

そして、住民自治日本一を目指し、市民のみなさん自身の取り組み支援のために「幸福実感一覧表」を定め、各年代・場面ごとに幸福感を育む取組例、指標および目標値を設定しています。

また、市民のみなさんが安心して幸福感を育む行動ができるよう、市行政が取り組むべき内容を「暮らしやすさ一覧表」として定め、「めざす地域の姿」の実現に向けた視点ごとに、最適化条件、代表指標およびめざそう値を設定しています。

さらに、市民主体の地域づくりに関係する国や県、市の統計調査の結果等をまとめ、「主要統計データ」として把握しています。

本報告書では、これら3つの指標の現状値をまとめ、その推移の分析を行うことで、「第1次滝沢市総合計画」がどこまで進捗しているのかを掲載しています。

この調査や分析は今後も定期的に行い、市民のみなさんに公表した上で、ご意見などの評価を頂きたいと考えています。

(注) ベンチマーク… もともとは測量の水準点という意味です。ここでは、地域の現状やめざすべき将来像の実現状況を測定するための「ものさし」として用います。地域の姿を身近でわかりやすい指標を用いて、もともとなる基準の数値を表し、最新の数値を将来の目標値や他の地域（自治体）と比較し、現状と未来を定期的に測定します。こういった取り組みをベンチマーキングと言い、民間企業の市場調査（マーケティング）等で用いられています。

◆「人とのつながり」を育み、「市民主体の地域づくり」を進めていきましょう

滝沢市の将来像である、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」を実現するためには、市民のみなさんの「市民主体の地域づくり」が進んでいくことが非常に重要であり、その中では、個人で解決できない課題を家族や地域で解決するといった「人とのつながり」が広がっていくことで、「住民自治日本一」へとつながるものと考えています。

多くの市民のみなさんにこの報告書をお読み頂き、家族や地域、行政（市役所）の職員との話し合い等の「人とのつながり」の構築や、お住まいの地域課題の解決、幸福感を育む環境づくりへの取り組み等への一助としていただければ幸いです。

◆今後も見直していきます

市民のみなさんへのPRの仕方、調査の方法や本報告書全体の内容やデザインなどについては、市民のみなさんにとって、より分かりやすく使いやすい報告書にしていくため、毎年見直しを行っていきたいと考えておりますので、ご意見・ご要望などがございましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。

目次

はじめに

第1部 幸福実感一覧表に関する報告	1
1 幸福実感一覧表とは	2
2 年代別・場面別の区分について	2
3 幸福実感一覧表の進捗状況と目標値について	2
4 データの出典について	2
5 報告ページの見方	3

幸福実感 一覧表 世代別

すこやか世代	4
学び・成長世代	5
自立世代	6
子育て世代	7
充実世代	8
円熟世代	9
全世代	10

第2部 暮らしやすさ一覧表に関する報告	11
1 暮らしやすさ一覧表とは	12
2 「めざす地域の姿」と、その実現に向けた視点	12
3 暮らしやすさ一覧表の進捗状況と、市民ニーズの把握について	12
4 データの出典について	12
5 報告ページの見方	13

※以下、最適化条件ごとの目次となります。

活かす

1 自然環境に配慮する取組が行われている	14
2 自然とふれあえる環境がある	14
3 市に豊かな自然がたくさん残されている	15

支え合う

4 みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる	16
5 隣り近所とのつきあいがある	16
6 地域に安心できる防災の仕組みがある	17
7 家族がお互いに支え合っている	18
8 ボランティアやNPO活動が活発である	18
9 地域の中に支え合う仕組みがある	19
10 市に犯罪がない	19

輝く

11 心身ともに元気で暮らせる	20
12 老後の不安なく暮らせる	20
13 子ども達が不安なく暮らせる	21

輝く

14	一人一人の個性が尊重されている	21
15	高齢者が自ら率先して活躍している	22
16	健康や介護などを学べる「場」がある	22
17	かかりつけの病院がある	23
18	放課後の子どもの居場所がある	23
19	安心して子育てができる	24

暮らす

20	交通安全が保たれている	25
21	急病の時に病院に行きやすい	25
22	交通の便がよく、移動がしやすい	26
23	ずっと住みたいと思える市である	26
24	市役所の仕事は信頼できる	29

学ぶ

25	自ら学んだり、取り組める環境がある	33
26	子どもたちが生き生きとしている	34
27	自分の夢の実現のために取り組むことができる	34
28	子どもたちの体力・学力が向上する	35
29	地域と学校の間で交流がある	36
30	スポーツに親しむ機会がある	37

働く

31	働く場がある	38
32	農業の担い手がいる	38
33	みんなが自分のやりたい仕事ができる	39
34	子育てしながらでも安心して働くことができる	39
35	市の特色を活かした産業がある	40
36	地場産品が広く販売されている	41

受け継ぐ

37	文化・伝統が受け継がれている	42
38	文化・伝統や芸術に親しむ機会がある	42
39	チャグチャグ馬コの知名度が活かされている	43

集う

40	必要な情報が分かりやすく伝わる	44
41	同じ目的を持った人との交流がある	44
42	地域間での交流がある	45
43	必要な時に欲しい情報が得られる	45
44	人々が集まり活動できる場所がある	46
45	地域や世代を超えて市全体がつながっている	46

第1部

幸福実感一覧表に関する報告

1 幸福実感一覧表とは

「幸福実感一覧表」は、地域づくりにつながる、幸福感を育む市民一人一人の行動の一覧表です。市民の年代と生活の場面ごとに、それぞれ幸福感を育む行動をまとめ、それを測定する「象徴指標」と「目標値」、また具体的にどのような行動をとれば幸福感を育めるかという「行動例示」を掲げています。この一覧表の策定に際しては、自治会をはじめとした各種団体との懇談会やグループインタビュー、市内小中学生や大学生のご協力を頂きながら、市民のみなさんが実際に感じる「幸福感」に極力近づける形での策定を行いました。

2 年代別・場面別の区分について

どのような時に、人は「幸福感」を感じるのかということを考えると、その人の年齢や立場等によってそれぞれ異なることが予想されます。また、それぞれの場面に応じて幸福感を感じる要因は変わってくるものと考えられます。

これらある程度共通化し、市民のみなさんの幸福実感の一助とできる表を作成するため、幸福実感一覧表においては「年代」と「場面」で以下のとおり区分を行ったうえで、それぞれに応じた行動、指標および目標値を整理しています。

また、全市民共通の部分として「全世代」の区分も設定しています。

(1) 年代別区分

象徴世代	すこやか世代	学び・成長世代	自立世代	子育て世代	充実世代	円熟世代	全世代
対象年齢	0～5歳	6～17歳	18～49歳		50～64歳	65歳～	全年齢

(2) 場面別区分

場面	概要
喜び・楽しさ	笑顔や元気、良好な人間関係など、「ワクワク」するような場面
成長・学び	知識を活かし、趣味や地域活動に取り組むなど、「イキイキ」するような場面
生活環境	体を動かし、豊かな自然とふれあうなど、「サワヤカ」な場面
安全・安心	悩みの相談ができたり、助け合ったりできるなど、「ホッ」とするような場面
人とのふれあい	子どもを見守ったり、地域に仲間がいて支え合ったりできるなど、「絆」のある場面

3 幸福実感一覧表の進捗状況と目標値について

本報告書では、幸福実感一覧表に基づき、各場面の象徴指標について、各年代毎に1ページにまとめ、令和2年度の実績値と動きの把握を行い、世代ごとに市民の皆さんの取り組みの分析を行います。

また、各象徴指標には、総合計画基本計画の年次に合わせ、平成30年度と令和4年度にそれぞれ目標値を設定しています。現状値とこれらの目標値を照らし合わせ、幸福実感一覧表の進捗を把握します。

4 データの出典について

令和2年度実績値については、主に「令和2年度たきざわ幸福実感アンケート報告書」のデータを用いています。

なお、当該アンケートは、令和2年10月に実施したものです。また、一定の範囲で誤差が見込まれ、「令和2年度たきざわ幸福実感アンケート報告書」においては、18歳以上の市民でみたときの誤差率を±3.0%と算定しています。このため、本報告書においては、「令和2年度たきざわ幸福実感アンケート報告書」に基づく各種指標について、その推移が軽微であった場合には、「ほぼ横ばい」もしくは「横ばい」という表現を用いています。

象徴世代 (0歳~5歳)
すこやか世代

世代名を表しています。



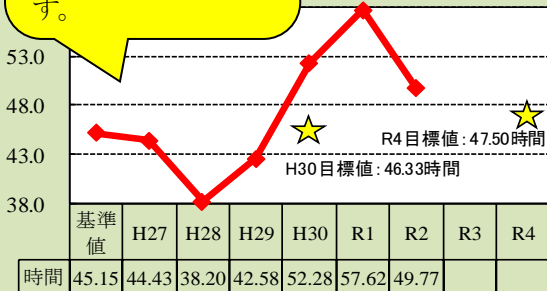
各場面の指標の動きを踏まえて、世代ごとの行動分析を簡潔に示しています。

POINT

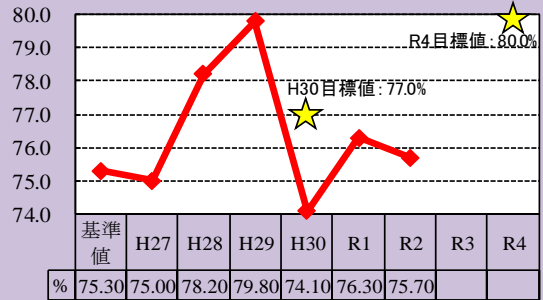
各指標共に前年度と比較して減少しており、特に「子どもが屋外で過ごす時間(1週間)」は27.1%の大きな減少となりました。
これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が極端に減少したことを示唆しています。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

喜び・楽しさ
みんなが笑顔で接してく
一緒に過ごす時間
基準値と、実績値 (H27年度以降) を図示し、動きをわかりやすくしています。

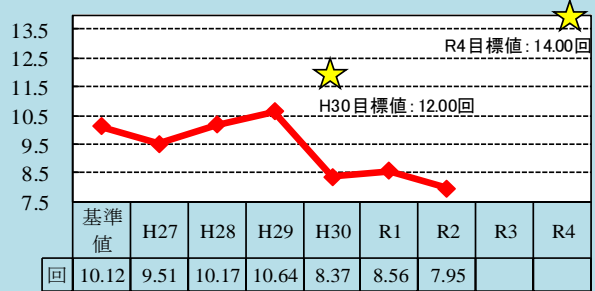


場面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)大切に见守られていること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもが大切に育てられていると感じている人の割合



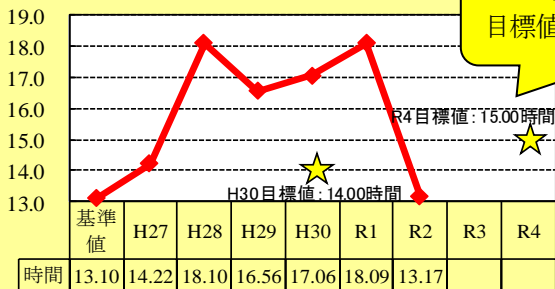
場面、幸福状態の例、象徴指標をそれぞれまとめています。

場面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもに)良い食習慣が身に付いていること
象徴指標 (下記グラフ)	家族一緒に食事をする回数 (1週間)



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

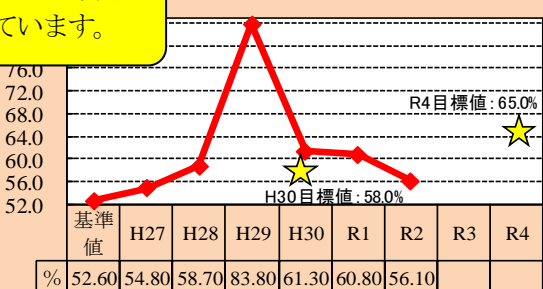
場面	生活環境
幸福状態の例	(子どもが)身近に体を動かして遊べる機会があること
象徴指標 (下記グラフ)	子どもが屋外で過ごす時間 (1週間)



H30年度およびR4年度の目標値を示しています。

※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場面	安全・安心
幸福状態の例	親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること
象徴指標	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（0歳～5歳）

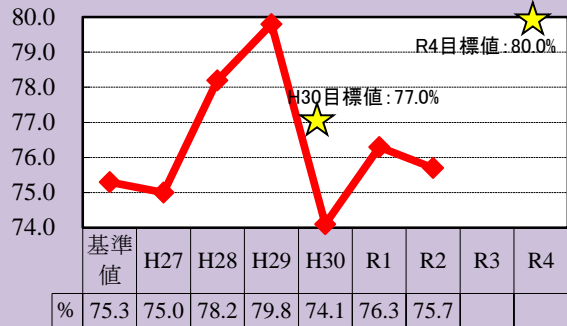
すこやか世代



POINT

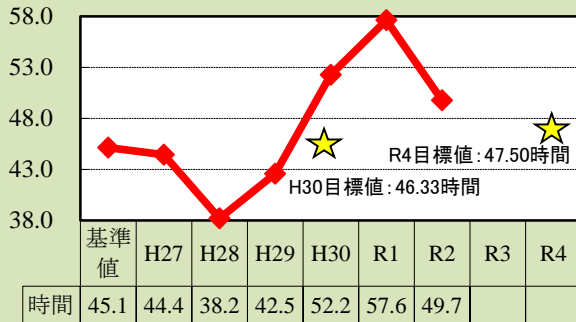
各指標共に前年度と比較して減少しており、特に「子どもが屋外で過ごす時間（1週間）」は大きな減少となりました。
これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が極端に減少するなど、ライフスタイルが大きく変化したことを示唆しています。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)大切に见守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが大切に育てられていると感じている人の割合

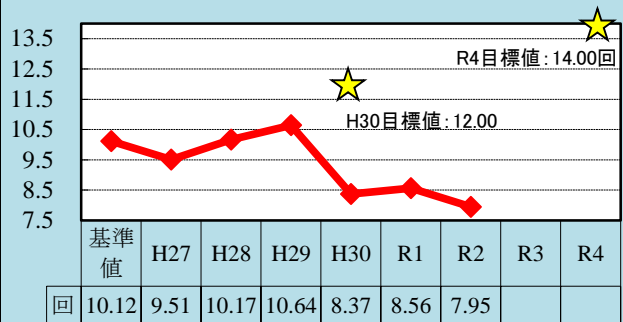


※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもと一緒に過ごす時間 (1週間)

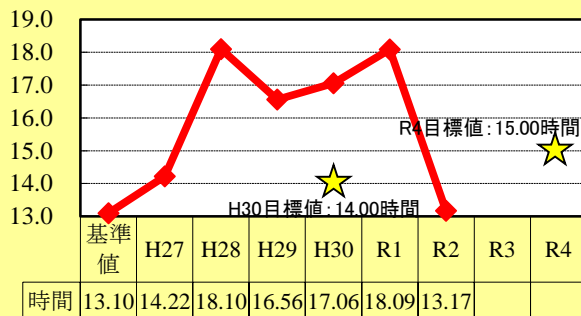


場 面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもに)良い食習慣が身に付いていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	家族と一緒に食事をする回数 (1週間)



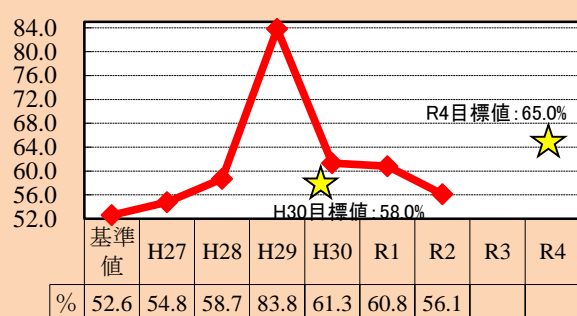
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	生活環境
幸福状態の例	(子どもが)身近に体を動かして遊べる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが屋外で過ごす時間 (1週間)



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	親以外に、(子どもの)世話をしてくれる人がいること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（6歳～17歳） 学び・成長世代

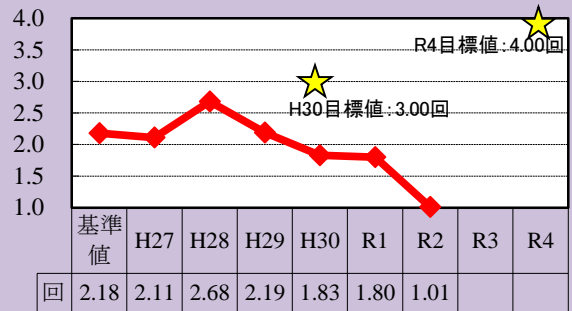


POINT

「子どもが安全に通学できると感じる人の割合」が高い一方で、「子どもが地域行事に参加した回数」及び「子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合」は依然として減少傾向にあります。このことから、日常生活の環境整備が進む中、今後はポストコロナにおける人とのつながりを推進する必要があります。

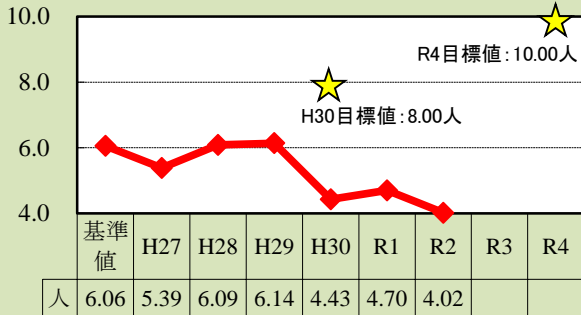
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	(子どもが)積極的に地域に関わっていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	(子どもが)地域行事に参加した回数



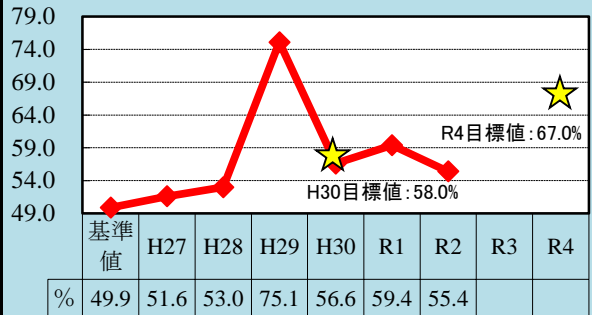
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	(子どもが)楽しい学校生活を過ごせること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	仲の良い友達の数

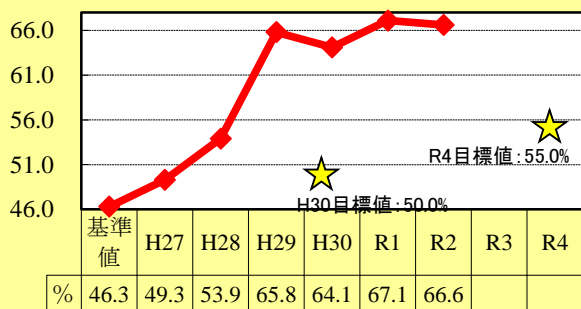


※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	成長・学び
幸福状態の例	(子どもが)夢中になって取り組めることがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合

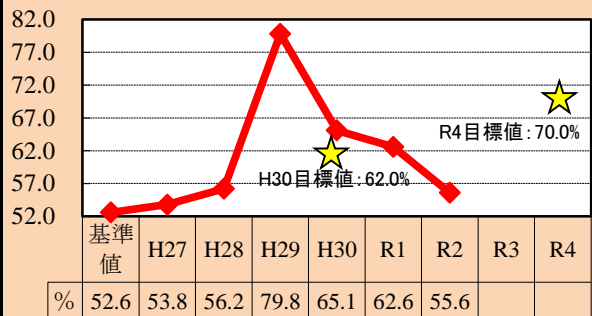


場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんに(子どもが)見守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが安全に通学できると感じる人の割合



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	(子どもが)悩みを相談できる相手や機会を持っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（18歳～49歳）

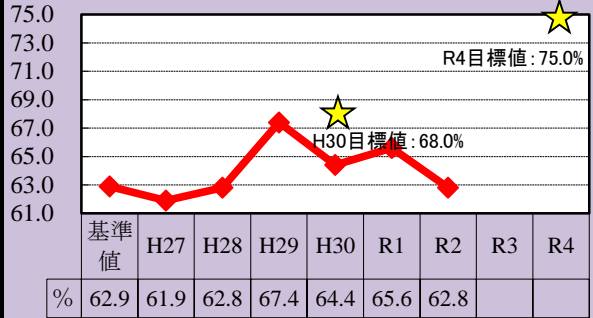
自立世代



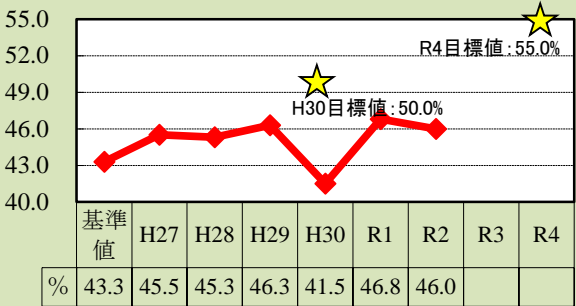
POINT

地域のお祭りや保育園、幼稚園及び小学校などの行事への参加数が顕著に減少した一方で、「多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合」は小幅な減少に留まりました。これは、この世代の人間関係が地域とのつながりという要素に依存していないことを示唆しています。

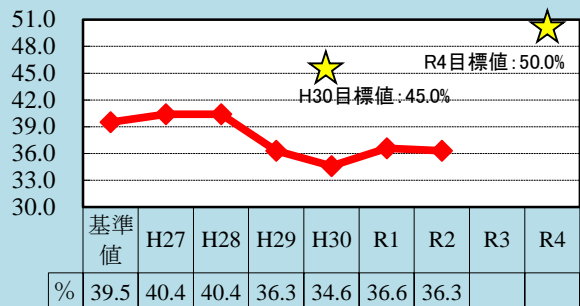
場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域に仲間がいること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の居心地が良いと思っ ている人の割合



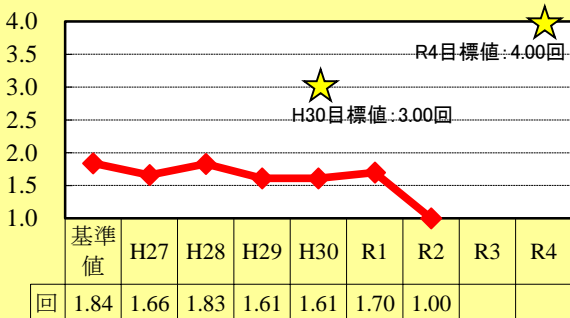
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合



場 面	成長・学び
幸福状態の例	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合

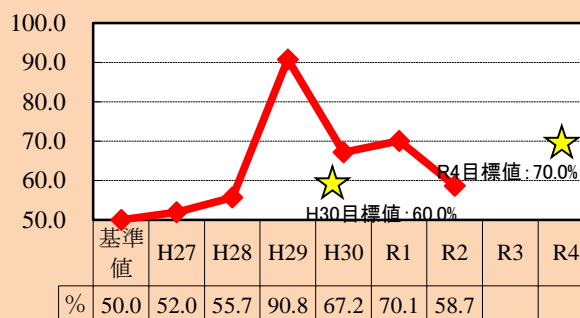


場 面	生活環境
幸福状態の例	地域の皆さんと交流の機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域のお祭りや行事に参加した回数



※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	安全・安心
幸福状態の例	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと
象 徴 指 標 (下記グラフ)	保育園、幼稚園、小学校などの行事へ参加している人の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（18歳～49歳）

子育て世代

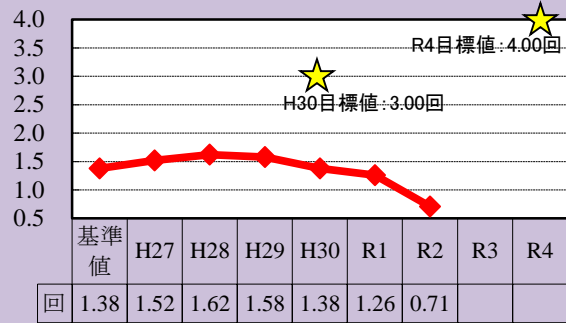


POINT

地域活動及び行事に関する指標が低下する中、「子どもとの会話の時間(1週間)」は前年度と比較して微増しています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭の外側とつながる機会が減少する一方、家庭内でのつながりが相対的に増加したことが示唆されています。

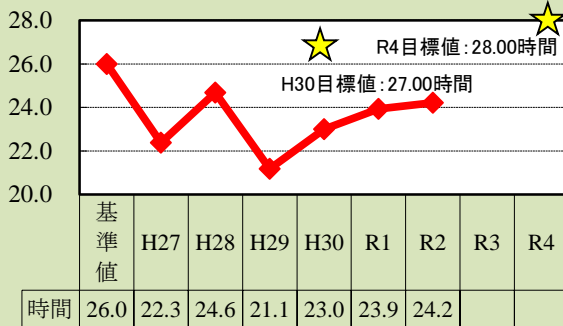
※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	親と子供の関係が良好であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもと一緒に地域活動をした回数

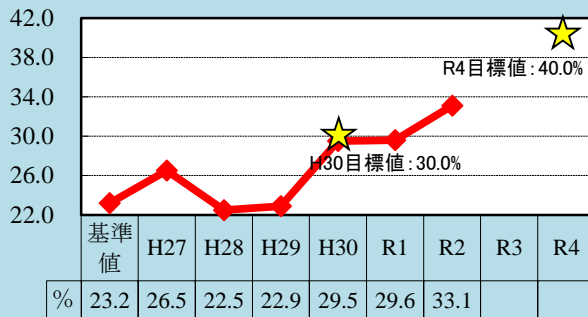


※H29年度から、子育てをしている回答者への設問としました。

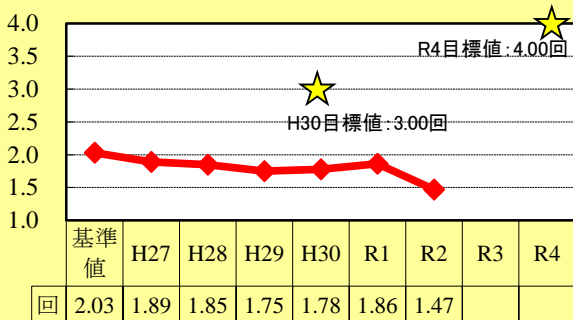
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	子どもたちの成長を確認できること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	子どもとの会話の時間(1週間)



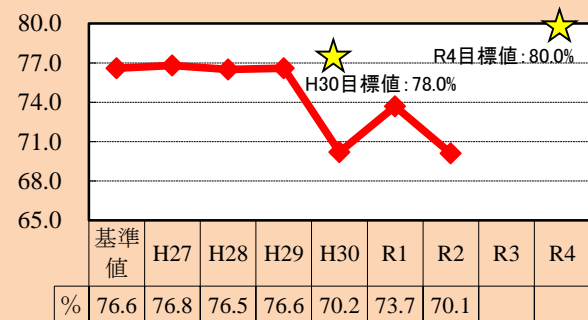
場 面	成長・学び
幸福状態の例	情報時代に適応したモラル、スキルを学び、活かす機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	広報やインターネットなどで、地域の情報を収集・発信している人の割合



場 面	生活環境
幸福状態の例	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	参加したいと思える地域行事の数



場 面	安全・安心
幸福状態の例	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（50歳～64歳）

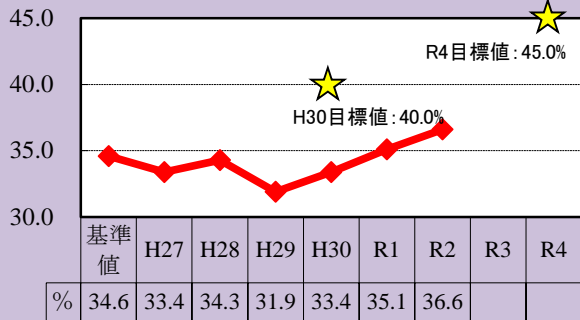
充実世代



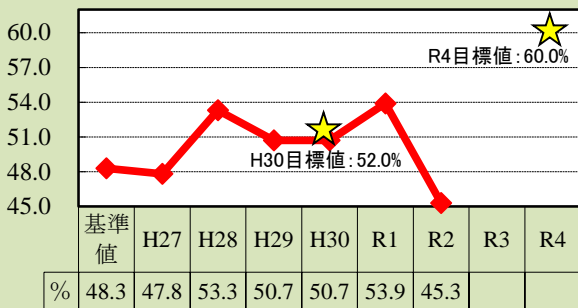
POINT

他世代と同様、地域活動に参加した人の割合は前年度と比較して減少しましたが、これ以外の指標はいずれも増加しています。このことから、新型コロナウイルスの影響により地域活動への参加自体は機会が減ったものの、築き上げられた地域とのつながり意識や習慣については失われていないことが読み取れます。

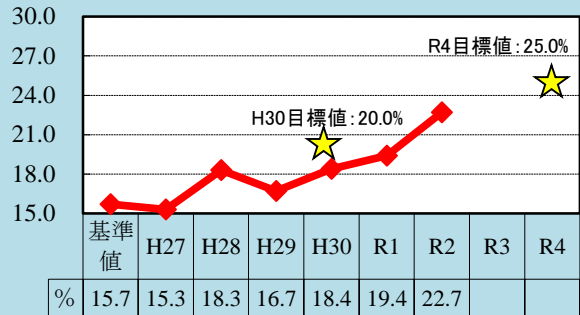
場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域活動などに無理なく参加できる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域活動と自分の活動を両立できていると感じている人の割合



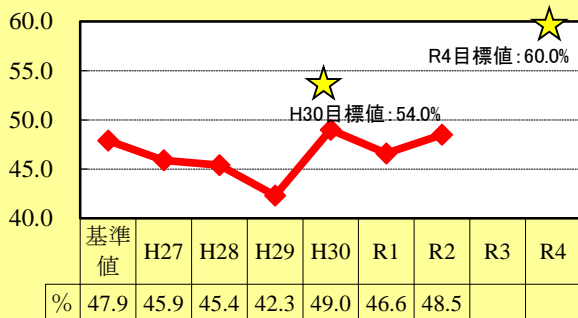
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世代を越えて交流する機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	ここ一年で地域活動に参加した人の割合



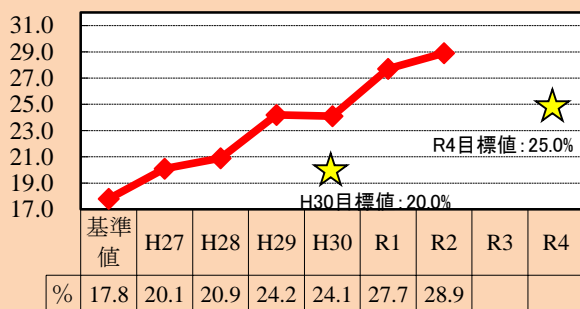
場 面	成長・学び
幸福状態の例	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合



場 面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合



場 面	安全・安心
幸福状態の例	老後の生活設計が描けること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	老後の生活設計に不安がない人の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

象徴世代（65歳～）

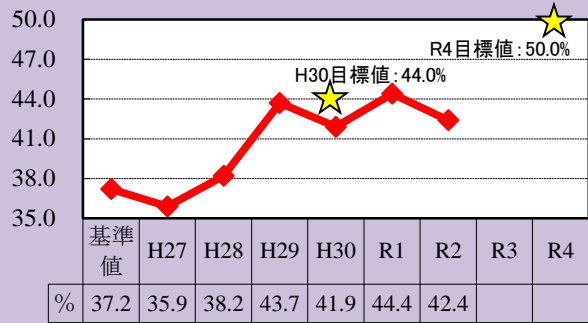
円熟世代



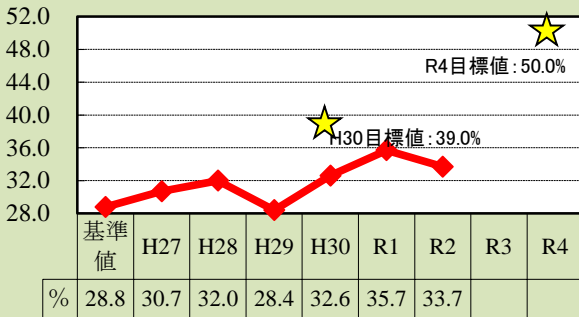
POINT

地域と関わる機会や頼れる相手がいる人の割合が減少に転じている一方で、散歩コースを持っている人の割合は微増しています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により地域や人とのつながりが希薄化する中、個を中心とした習慣やその外部環境については維持されていることを示唆しています。

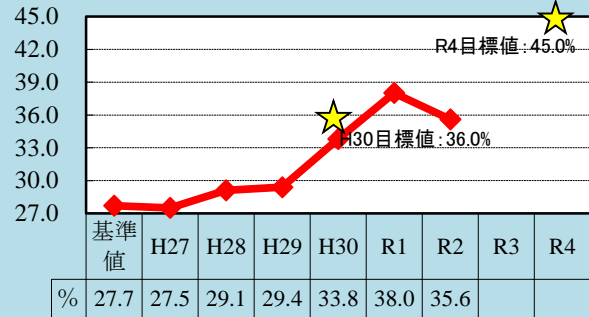
場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	地域にお互い支え合い、助け合う仕組みが整っていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域とつながっていると感じている人の割合



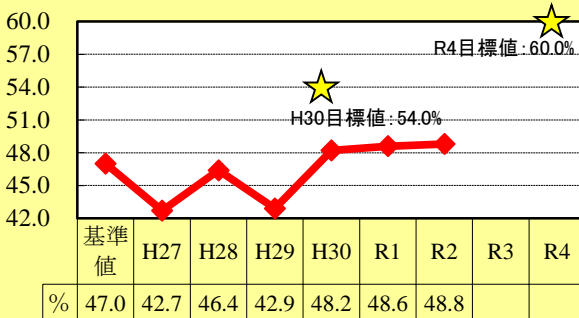
場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	心身ともに元気になる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の役に立つ機会を持っていると感じている人の割合



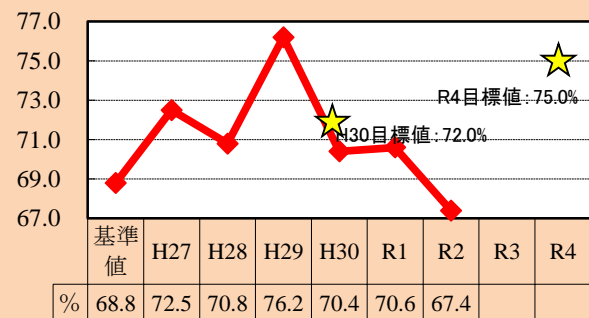
場 面	成長・学び
幸福状態の例	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合



場 面	生活環境
幸福状態の例	豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	自分の散歩コースを持っている人の割合



場 面	安全・安心
幸福状態の例	いざという時にも、助け合える繋がりがあること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合



★ ……H30年度又はR4年度各目標値

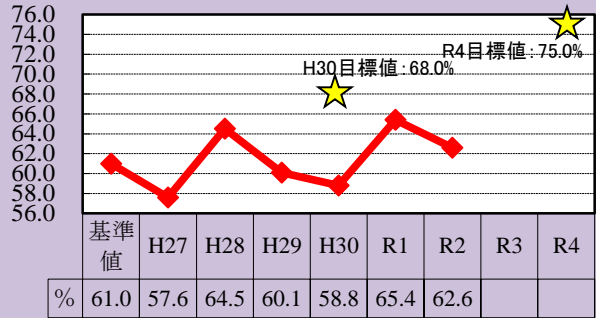
象徴世代 全世代



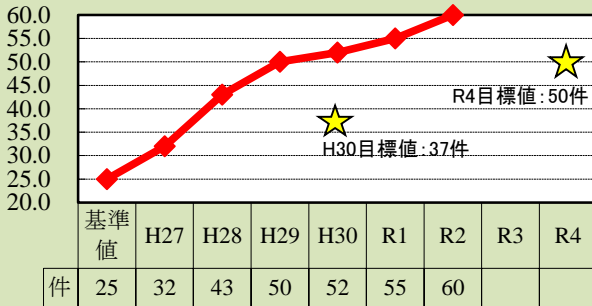
POINT

新型コロナウイルス感染症の影響により、人や地域とのつながりが希薄化していることが顕著となりました。ポストコロナを見据えたライフスタイルの構築と併せながら、幸福感を育む要素の分析及びそれを伸ばすための効果的な手段の実践が必要となっています。

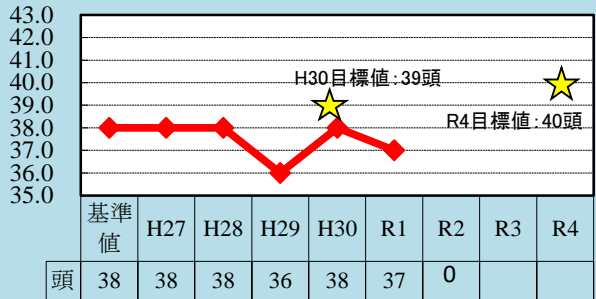
場 面	人とのふれあい
幸福状態の例	市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合



場 面	喜び・楽しさ
幸福状態の例	世界や全国で活躍する人材を育む滝沢市であること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	芸術文化およびスポーツに関する市特別表彰の件数(累計数)

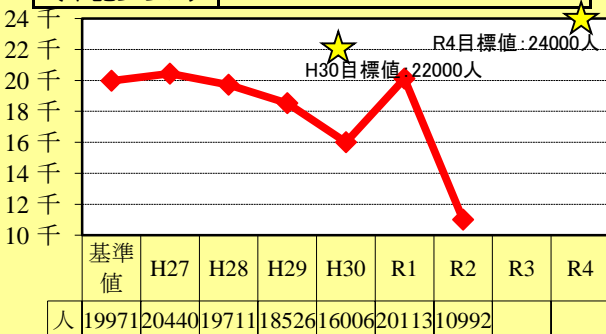


場 面	成長・学び
幸福状態の例	チャグチャグ馬コが受け継がれていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	チャグチャグ馬コの滝沢市からの参加馬数

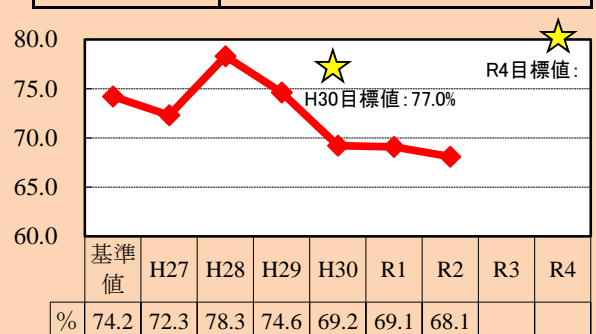


※R2は新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から行事は中止となっています。

場 面	生活環境
幸福状態の例	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	地域清掃活動への参加者数



場 面	安全・安心
幸福状態の例	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること
象 徴 指 標 (下記グラフ)	滝沢市に愛着がある人の割合



★・・・H30年度又はR4年度各目標値

第2部

暮らしやすさ一覧表に関する 報告

1 暮らしやすさ一覧表とは

「暮らしやすさ一覧表」は、市行政が市民主体の地域づくりを支え、支援するために取り組むべき内容を一覧にしたものです。

分類としては、滝沢市自治基本条例第5条に規定する8つの「めざす地域の姿」毎に視点を定め、その視点を通し第1次総合計画がめざすまちの姿を設定しています。そしてその下に45の「最適化条件」を定め、最適化条件を満たすための「代表指標」と「めざそう値（目標値）」を設定しています。

2 「めざす地域の姿」と、その実現に向けた視点

第1次滝沢市総合計画は、滝沢市自治基本条例の理念を実現するための行動計画です。そして滝沢市自治基本条例においては、めざす地域の姿を定めています。これに対応し、第1次滝沢市総合計画では、その地域の姿の実現に向けた視点を次のとおり定め、その視点を通して「めざすまちの姿」として次のとおり整理しています。

めざす地域の姿 (自治基本条例)	視点	めざすまちの姿 (第1次滝沢市総合計画)
岩手山を背景とした景観を守り、恵まれた自然と調和した地域	活かす	恵まれた自然環境を身近に感じ、暮らしに活かすまち
みんなで考え、話し合い、共に行動し、絆で結ばれた地域	支えあう	互いに支えあい、人とのふれあいが生活に潤いを与えるまち
保健・福祉・医療が充実し、誰もが安心して元気に暮らせる地域	輝く	みんなが健康づくりに取り組み、一人一人が輝きながら、安心して暮らせるまち
地域の防災・防犯対策が充実し、誰もが快適な生活を実感し、安全・安心に暮らせる地域	暮らす	安全で快適な暮らしが実感できるよう、みんなで取り組むまち
学校・家庭・地域の連携により教育環境が充実し、誰もが生涯にわたって学べる地域	学ぶ	子どもから高齢者まで、夢を抱き、夢に向かって互いに学びあい、成果を活かせるまち
地域資源を活かし、産業を育成し、誰もが働きやすい地域	働く	雇用環境が充実し、みんなが安心して生き生きと働けるまち
歴史・伝統を守り、文化を創造する地域	受け継ぐ	次世代に伝統と文化を受け継ぎ、ふるさとに愛着を持てるまち
年齢・性別に捉われず、誰もが参加しやすい地域	集う	地域と世代を越えて集い、人との関わりに幸せを実感して地域づくりができるまち

3 暮らしやすさ一覧表の進捗状況と、市民ニーズの把握について

本報告書では、暮らしやすさ一覧表に基づき、各最適化条件の重要度・満足度と、最適化条件に対応した代表指標の実績値、推移および4年後・8年後のめざそう値（目標値）についてまとめ、重要度・満足度の動きから見る市民ニーズの把握、各指標の動きとめざそう値との関係について報告しています。

特にも、「【重要度】－【満足度】＝【重要度と満足度の差】」としてとらえた場合に、その差が大きければ大きいほど、「市民の皆さんは重要だと思っているが、現状に満足できていない」ものとなり、市民のニーズは大きいものと捉えています。

4 データの出典について

データ出典については、各ページに明記してあります。

令和2年度実績値については、基本的に「令和2年度たきざわ幸福実感アンケート報告書」のデータを用いていますが、当該アンケートの誤差については、「幸福実感一覧表に関する報告（本報告書参照）」と同様の取扱いとします。

5 報告ページの見方

各視点と目指すまちの姿を表しています。

視点	活かす	目指すまちの姿	恵まれた自然環境を身近に感じ、暮らしに活かすまち
----	-----	---------	--------------------------

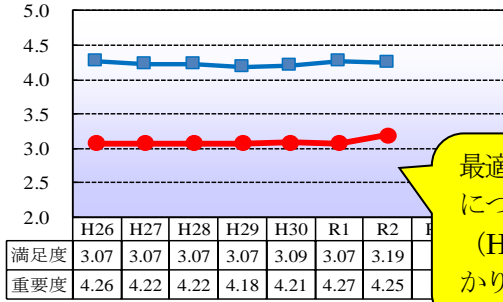
最適化条件No. 1

自然環境に配慮する取組が行われている

ページ左側では、最適化条件について報告しています。

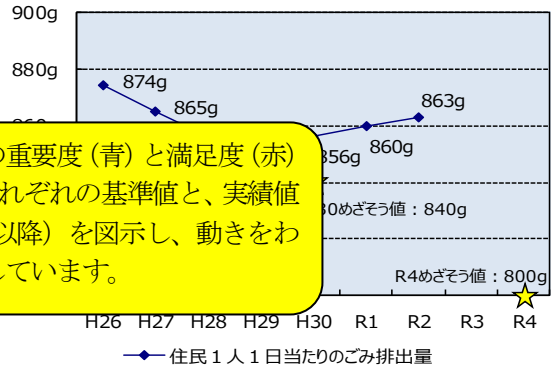
(住民1人当たり)

重要度・満足度の推移



最適化条件の重要度(青)と満足度(赤)について、それぞれの基準値と実績値(H27年度以降)を図示し、動きをわかりやすくしています。

指標の推移とめざそう値



出典：市民環境部環境課（環境省「一般廃棄物処理実態調査（速報値）」）

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.12ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.06ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中ではほぼ横ばいとなっています。

重要度・満足度の動きと、そこから導き出される市民ニーズの動向について分析しています。

最適化条件No. 2

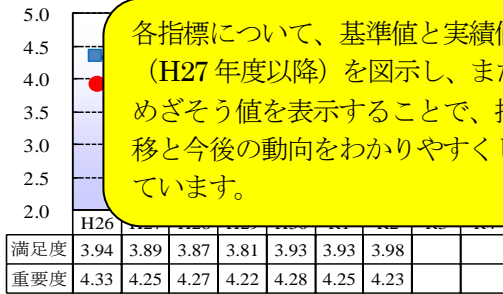
自然と

ページ右側では、各最適化条件に対応した代表指標について報告しています。

代表指標No. 2

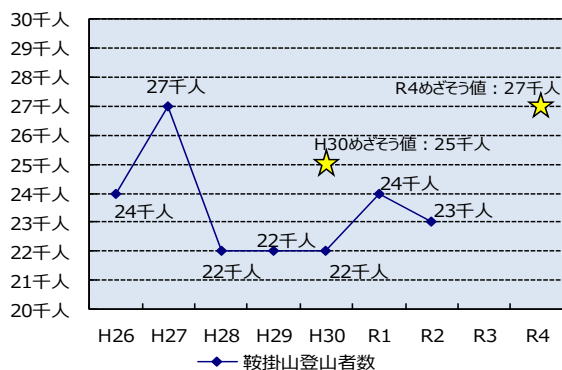
鞍掛山登山者数

重要度・満足度の推移



各指標について、基準値と実績値(H27年度以降)を図示し、まためざそう値を表示することで、推移と今後の動向をわかりやすくしています。

指標の推移とめざそう値



出典：経済産業部観光物産課

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.03ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね減少傾向にあります。

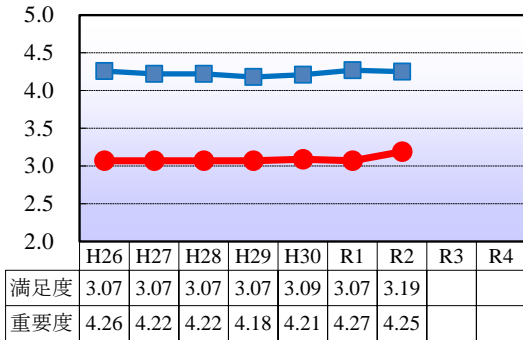
指標の定義と動きから、めざそう値との関係について表記しています。

【定義】 1年間に鞍掛山登山を行った人の数
【動き】 前回と比べて、1千人減となりました。R4めざそう値とは4千人の差がある状態です。

最適化条件No. 1

自然環境に配慮する取組が行われている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

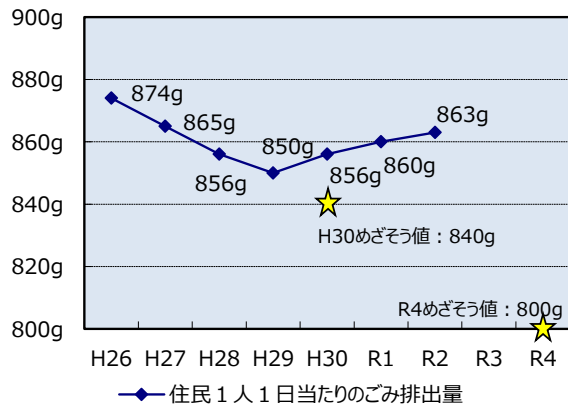
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.12ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.06ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No. 1

1日当たりのごみ排出量（住民1人当たり）

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：市民環境部環境課（環境省「一般廃棄物処理実態調査（速報値）」）

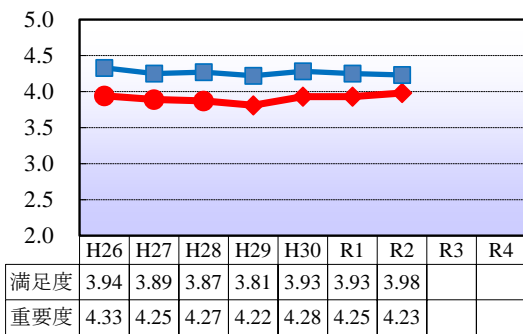
【定義】 住民1人1日あたりのごみ排出量(g)
【動き】 前回と比べて、3g 増となりました。
R4めざそう値とは63g の差がある状態です。

※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.2

自然とふれあえる環境がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

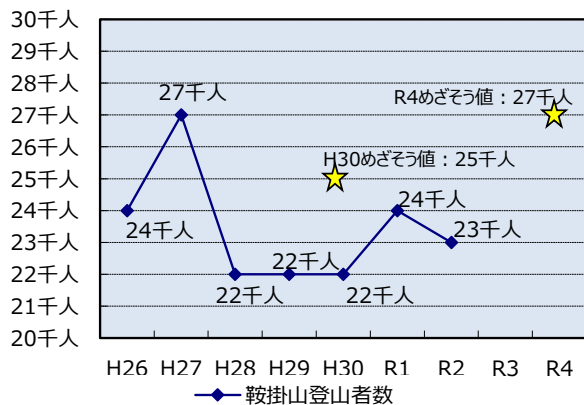
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.25ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおむね減少傾向にあります。

代表指標No.2

鞍掛山登山者数

■ 指標の推移とめざそう値



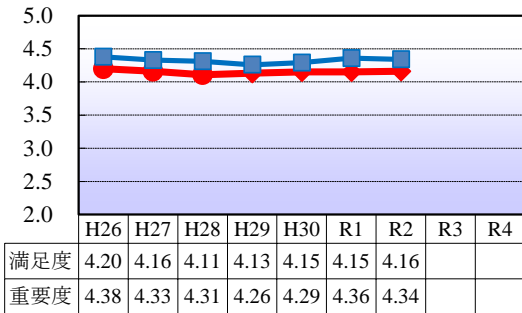
■ 出典：経済産業部観光物産課

【定義】 1年間に鞍掛山登山を行った人の数
【動き】 前回と比べて、1千人減となりました。
R4めざそう値とは4千人の差がある状態です。

最適化条件No.3

市に豊かな自然がたくさん残されている

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

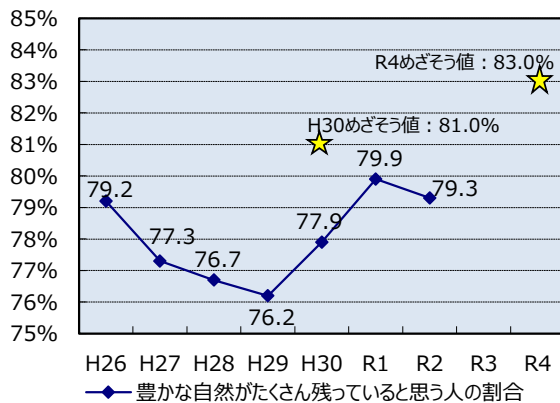
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.01ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.18ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.3

豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



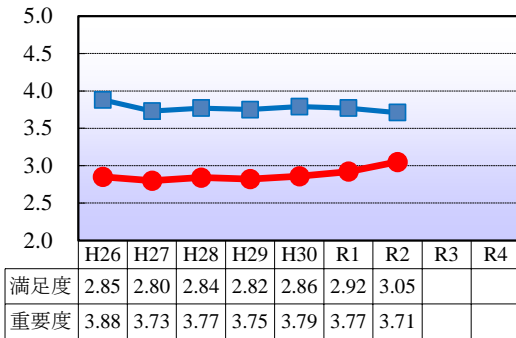
■ 出典：令和2年度たぎざわ幸福実感アンケート

【定義】 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合
【動き】 前回と比べて、0.6ポイント減となりました。
R4めざそう値とは3.7ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.4

みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度滝沢地域社会に関するアンケート調査より

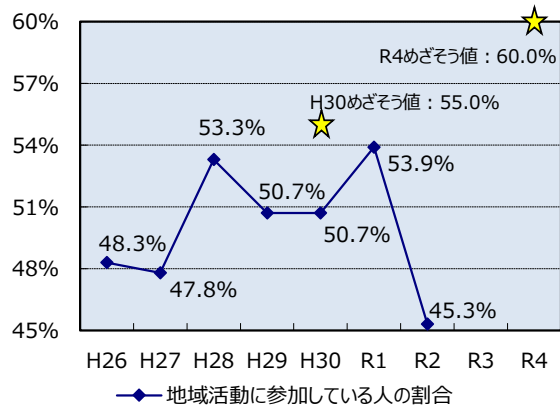
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.13ポイント増、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.66ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.4

地域活動に参加している人の割合

指標の推移とめざそう値



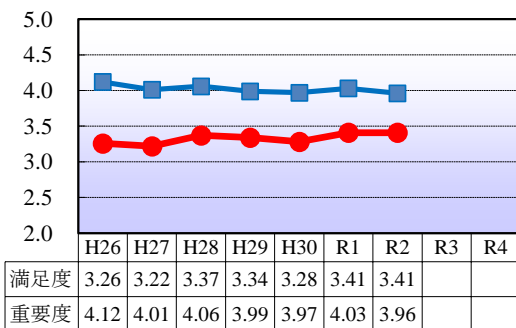
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】ここ1年で地域活動に参加した人の割合
【動き】新型コロナウイルス感染症の影響により、前回と比べて8.6ポイントの減となりました。R4めざそう値とは14.7ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.5

隣り近所とのつきあいがある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

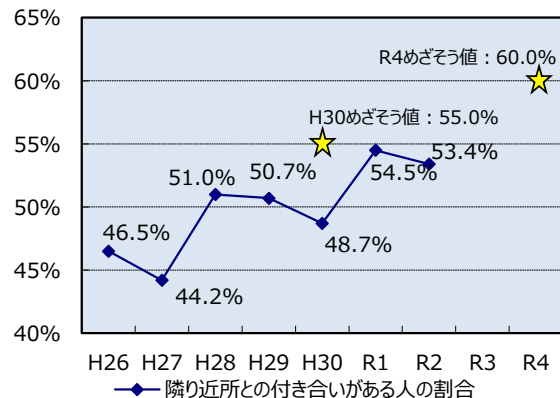
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は変わらず、重要度は0.07ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.55ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.5

隣り近所との付き合いがある人の割合

指標の推移とめざそう値



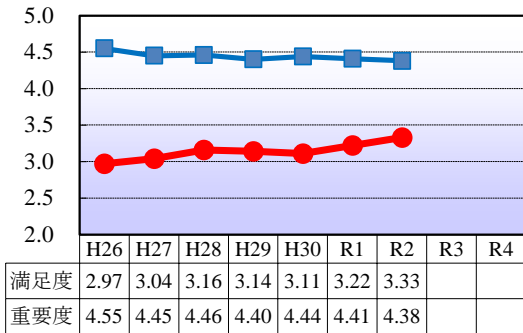
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】隣り近所との付き合いがあると感じている人の割合
【動き】前回と比べて1.1ポイント減となりました。R4めざそう値とは6.6ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.6

地域に安心できる防災の仕組みがある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

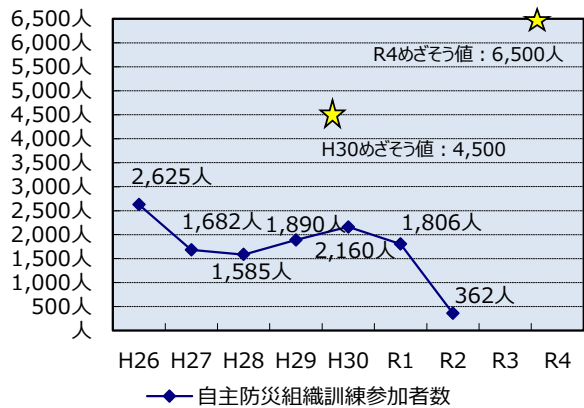
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.11ポイント増、重要度は0.03ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.05ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.6-1

自主防災組織訓練参加者数

指標の推移とめざそう値



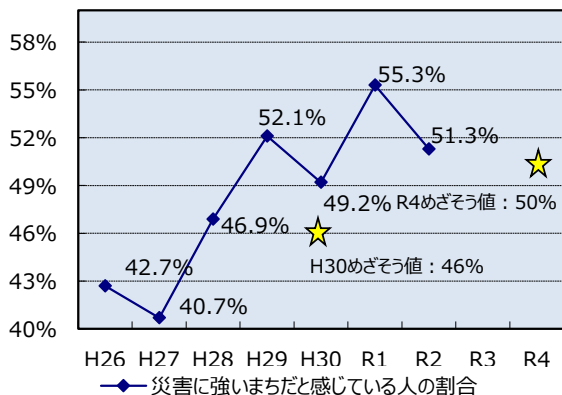
■出典：市民環境部防災防犯課

【定義】 自主防災組織訓練へ参加した人の数
【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により、前回と比べて1,444人の非常に大幅な減となりました。R4めざそう値とは6,138人の非常に大きな差がある状態です。

代表指標No.6-2

災害に強いまちだと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



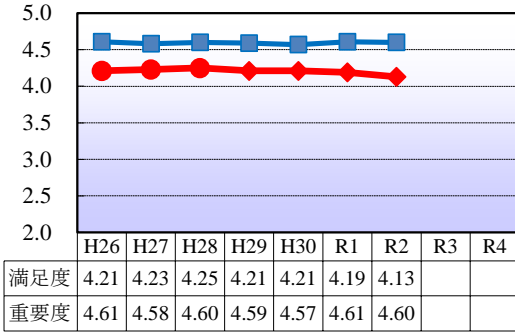
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 滝沢市は災害に強いまちだと感じていますか
【動き】 前回と比べて4.0ポイントの減となっています。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.7

家族がお互いに支え合っている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

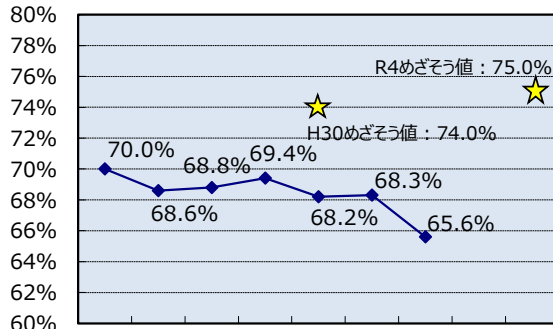
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント減、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.47ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でおおむね増加傾向にあります。

代表指標No.7

家庭内での役割分担に満足している人の割合

指標の推移とめざそう値



H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
◆ 家庭内での役割分担に満足している人の割合

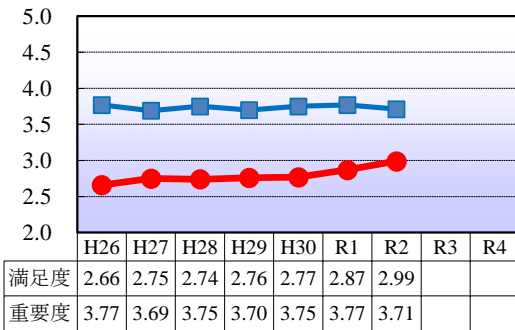
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 家庭内の役割分担に満足している人の割合
【動き】 前回と比べて、2.7ポイント減となりました。R4めざそう値とは9.4ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.8

ボランティアやNPO活動が活発である

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

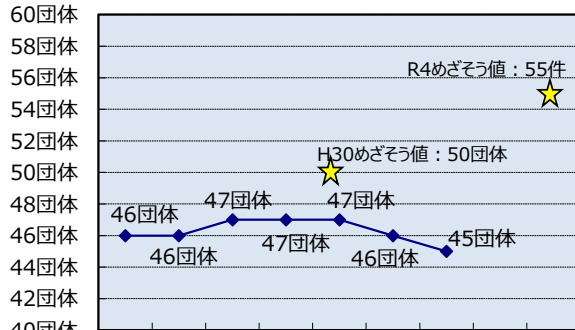
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度0.12ポイント増、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.72ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.8

滝沢市のボランティア登録団体数

指標の推移とめざそう値



H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
◆ 滝沢市のボランティア登録団体数

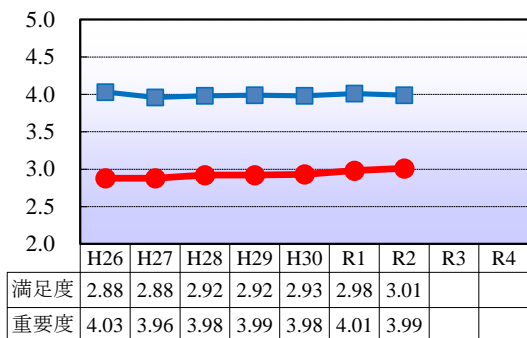
■出典：健康福祉部地域福祉課

【定義】 滝沢市においてボランティア団体として登録している団体
【動き】 前回と比べて、1団体減となりました。R4めざそう値とは10団体の差がある状態です。

最適化条件No.9

地域の中に支え合う仕組みがある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

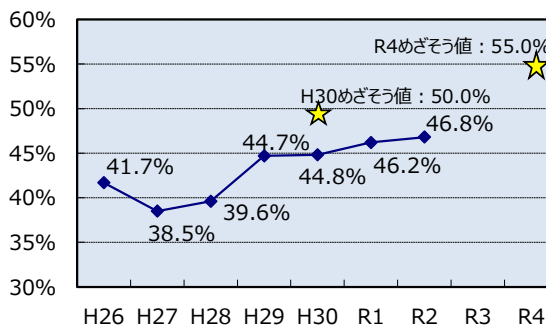
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.98ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.9

滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合

■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

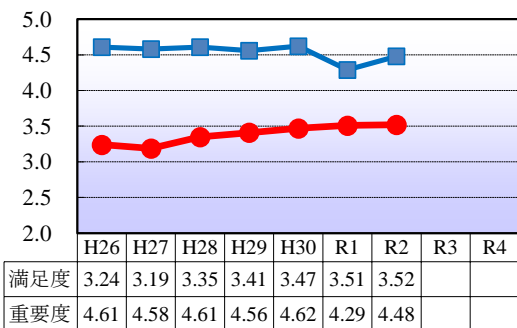
【定義】 滝沢市はみんなで支えあうことで地域の課題を解決できる市だと感じている人の割合

【動き】 前回と比べて、0.6ポイント増となりました。R4めざそう値とは8.2ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.10

市に犯罪がない

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

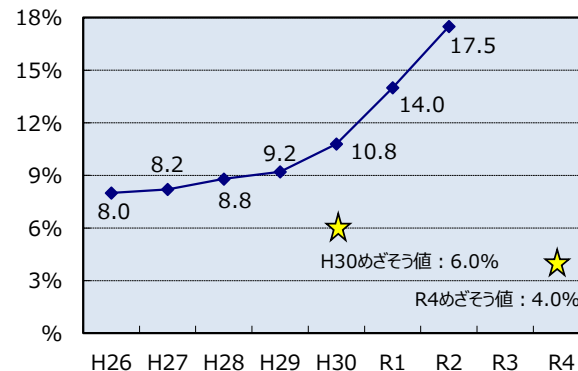
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.01ポイント増、重要度は0.19ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.96ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.10

ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 ここ一年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合

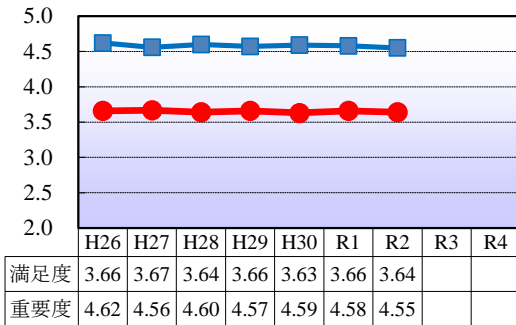
【動き】 前回と比べて、3.5ポイント増となりました。R4めざそう値とは13.5ポイントの非常に大きな差がある状態です。

※減少した方が望ましい指標となります。

最適化条件No.11

心身ともに元気で暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

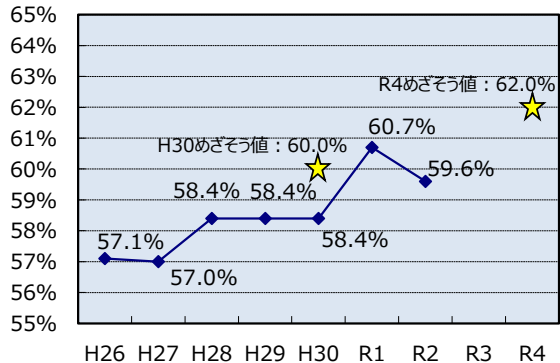
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.02ポイント減、重要度は0.03ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.91ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.11

自分が心身ともに元気と感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
◆ 自分が心身ともに元気と感じている人の割合

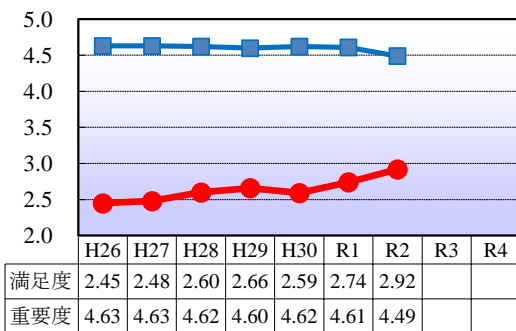
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 心身ともに元気で暮らせると感じる人の割合
【動き】 前回と比べて、1.1ポイント減となりました。R4めざそう値とは2.4ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.12

老後の不安なく暮らせる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

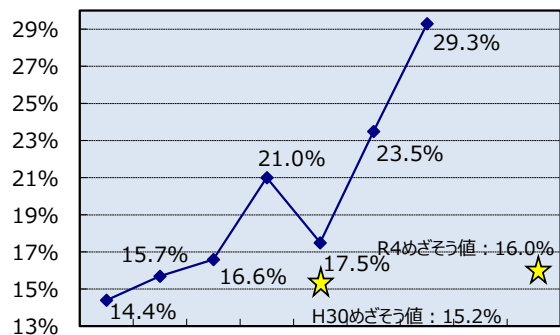
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.18ポイント増、重要度は0.12ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.57ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向となっています。

代表指標No.12

老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4
◆ 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合

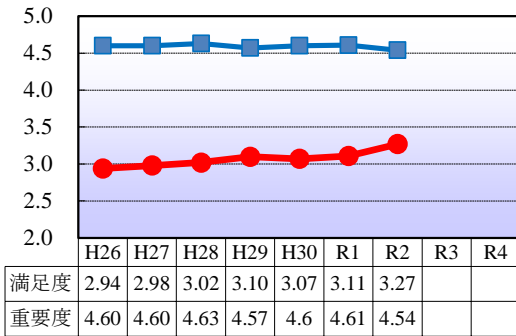
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 老後が不安なく暮らせると感じる人の割合
【動き】 前回と比べて、5.8ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.13

子ども達が不安なく暮らせる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

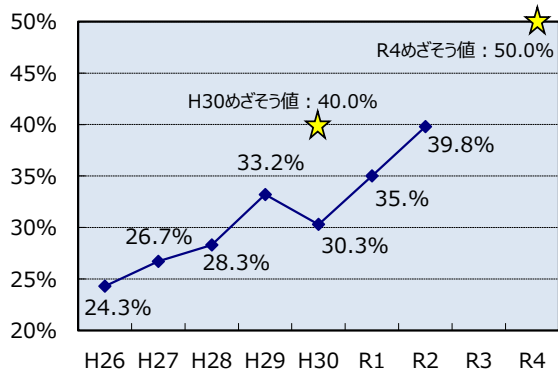
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.16ポイント増、重要度は0.07ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.27ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.13

子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合

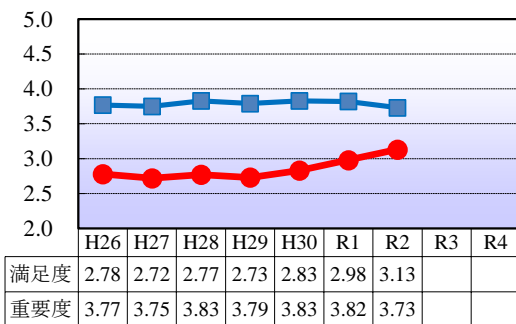
■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、4.8ポイント増となりました。R4めざそう値とは10.2ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.14

一人ひとりの個性が尊重されている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

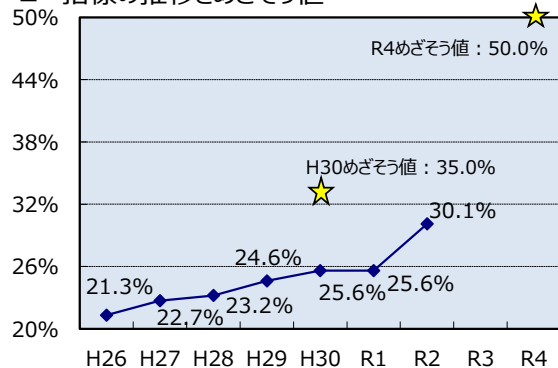
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.15ポイント増、重要度は0.09ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.60ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.14

障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ 障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合

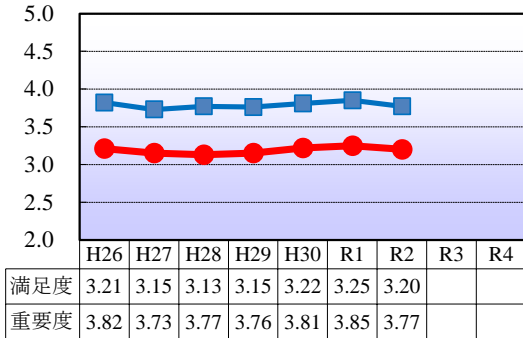
■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 障がいのある方の社会参加は進んでいると感じる人の割合
【動き】 前回と比べて、4.5ポイント増となりました。R4めざそう値とは19.9ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.15

高齢者が自ら率先して活躍している

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

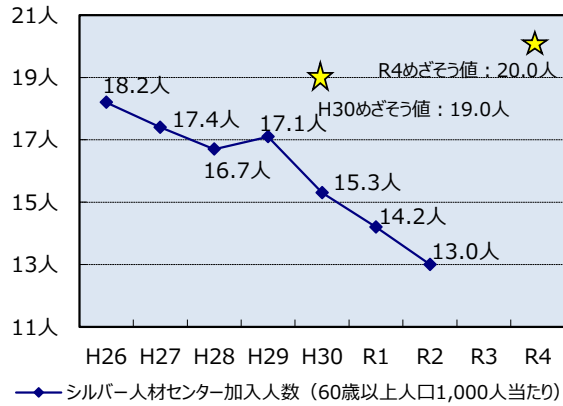
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント減、重要度は0.08ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.57ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.15

シルバー人材センター加入人数（60歳以上人口1,000人当たり）

■ 指標の推移とめざそう値



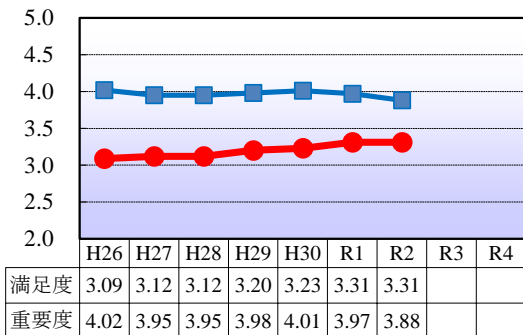
■出典：経済産業部観光物産課

【定義】 60歳以上人口1,000人当たりのシルバー人材センター加入人数
【動き】 前回と比べて、1.2人減となりました。
R4めざそう値とは7.0人の差がある状態です。

最適化条件No.16

健康や介護などを学べる「場」がある

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

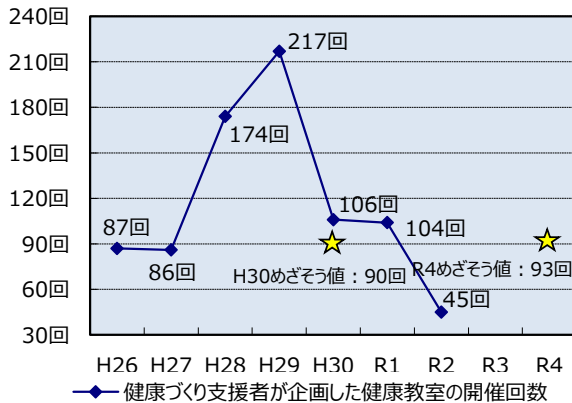
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は変わらず、重要度は0.09ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.57ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.16

健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数

■ 指標の推移とめざそう値



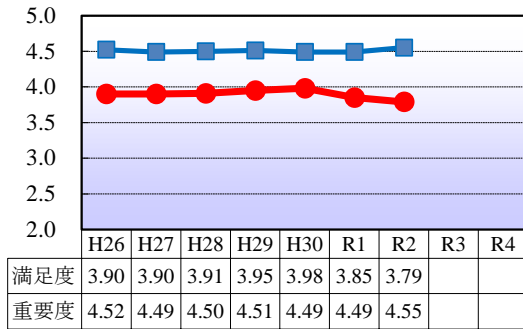
■出典：健康福祉部健康推進課

【定義】 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数
【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により、前回と比べて59回減となりました。
R4めざそう値とは48回の差がある状態です。

最適化条件No.17

かかりつけの病院がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

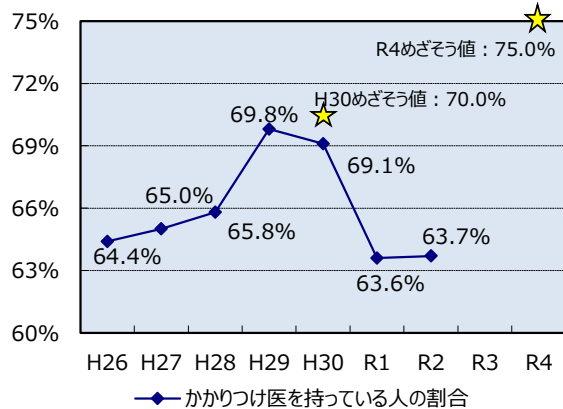
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント減、重要度は0.06ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.76ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね増加傾向にあります。

代表指標No.17

かかりつけ医を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



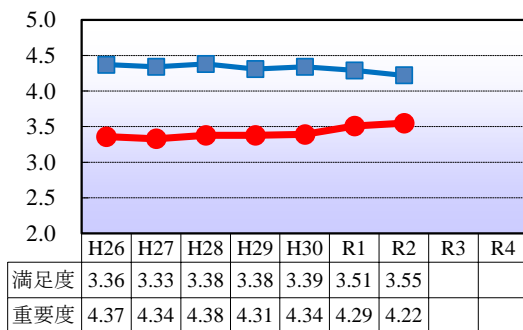
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 かかりつけの病院がある人の割合
【動き】 前回と比べて、0.1ポイント増となりました。R4めざそう値とは11.3ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.18

放課後の子どもの居場所がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

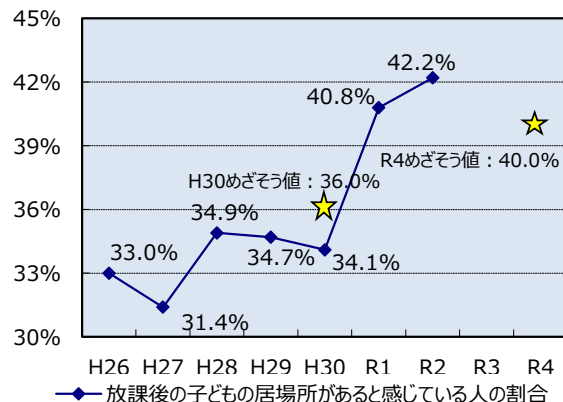
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.04ポイント増、重要度は0.07ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.67ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.18

放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



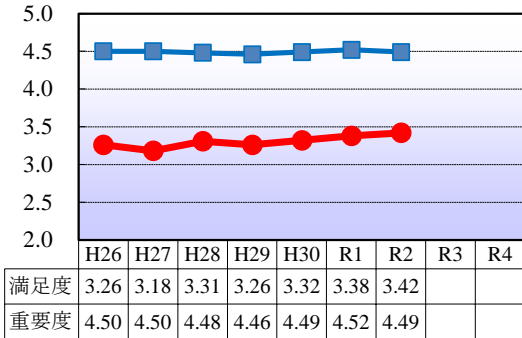
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、1.4ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.19

安心して子育てができる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

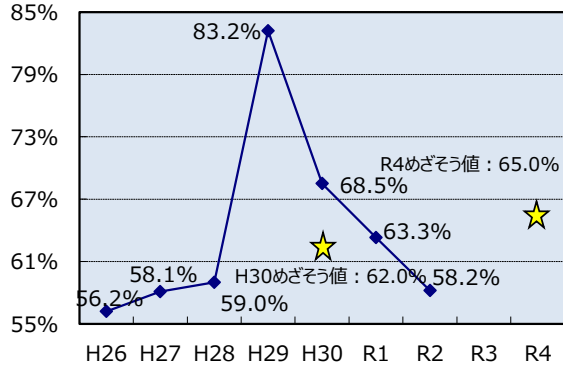
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.04ポイント増、重要度は0.03ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.07ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.19

子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



◆ 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合

■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合

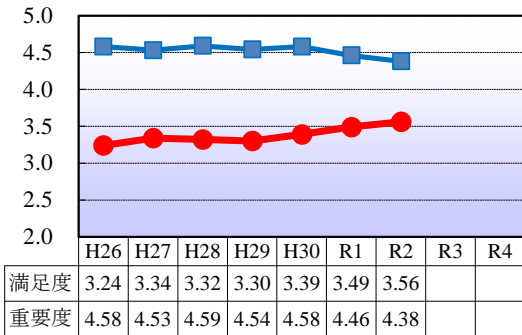
【動き】 前回と比べて5.1ポイントの減となりました。
R4めざそう値とは6.8ポイントの差があります。

※H29年度から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.20

交通安全が保たれている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

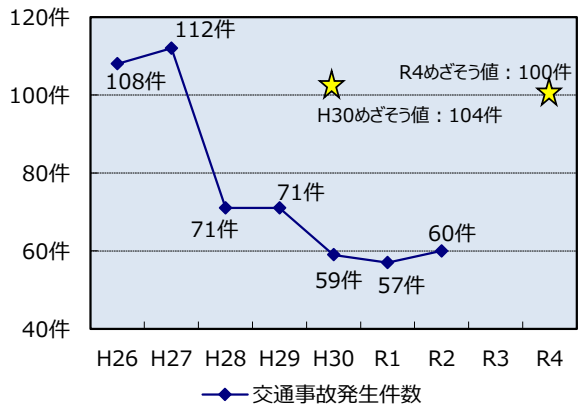
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.07ポイント増、重要度は0.06ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.82ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.20

交通事故発生件数

指標の推移とめざそう値



■出典：市民環境部防災防犯課

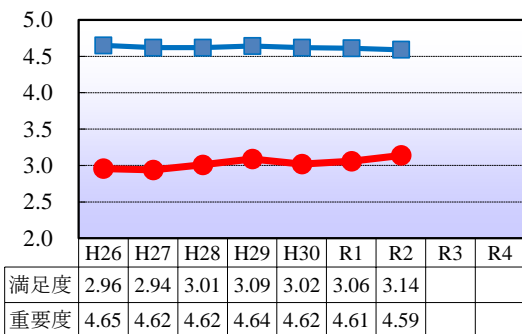
【定義】 市内で発生した交通事故件数
【動き】 前回と比べて、3件増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.21

急病の時に病院に行きやすい

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

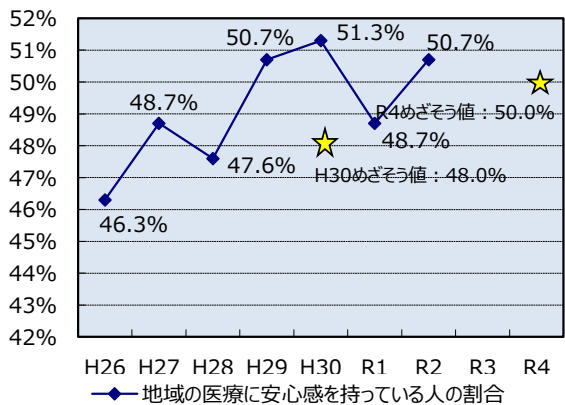
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.08ポイント増、重要度は0.02ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.45ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.21

地域の医療に安心感を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



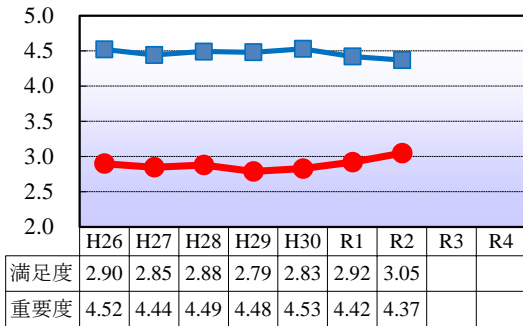
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 地域の医療に安心感を持っている人の割合
【動き】 前回と比べて、2.0ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.22

交通の便がよく、移動がしやすい

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

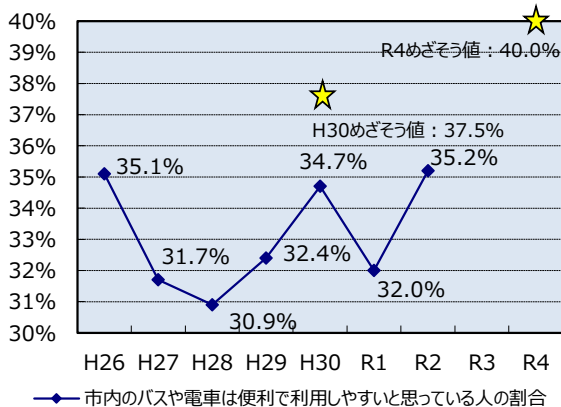
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.13ポイント増、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.32ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.22

市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合

指標の推移とめざそう値

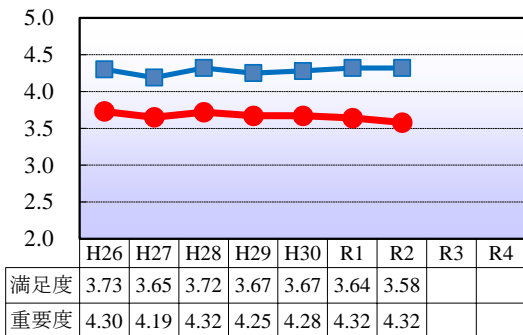


【定義】 滝沢市内のバスや電車は便利で利用しやすいと感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、3.2ポイント増となりました。R4めざそう値とは4.8ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.23

ずっと住みたいと思える市である

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

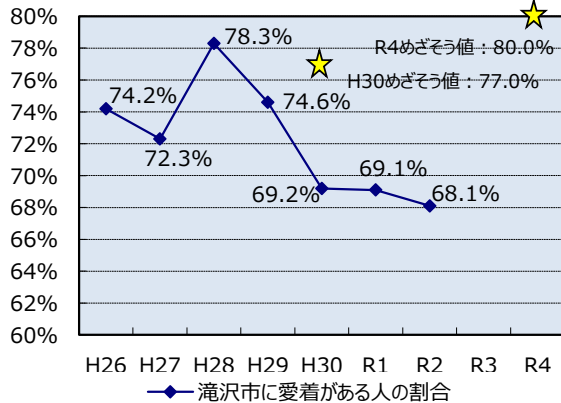
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント減、重要度は変わりませんでした。満足度と重要度の差は0.74ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね増加傾向にあります。

代表指標No.23-1

滝沢市に愛着がある人の割合

指標の推移とめざそう値

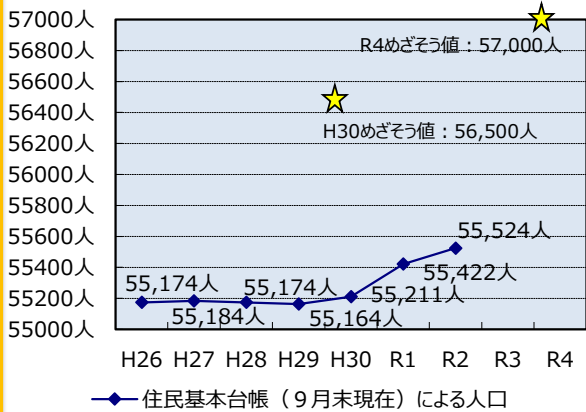


【定義】 滝沢市に愛着がある人の割合
【動き】 前回と比べて、1.0ポイント減となりました。R4めざそう値とは11.9ポイントの差がある状態です。

代表指標No.23-2

住民基本台帳（9月末現在）による人口

指標の推移とめざそう値



■出典：市民環境部市民課

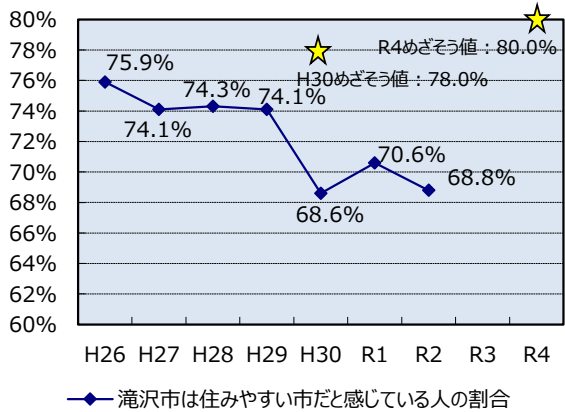
【定義】 9月末現在の住民基本台帳人口
 【動き】 前回と比べて、102人増となりました。
 R4めざそう値とは1,476人の差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-3

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たぎわ幸福実感アンケート

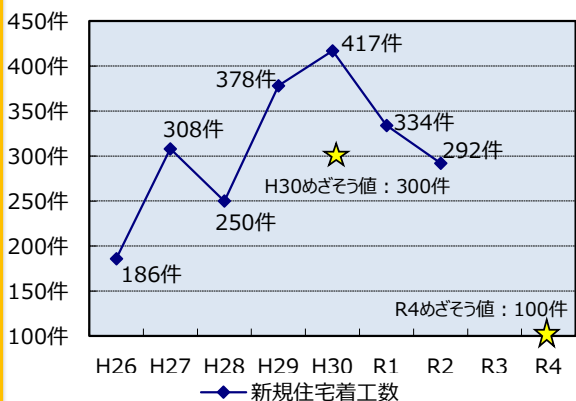
【定義】 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合
 【動き】 前回と比べて、1.8ポイント減となりました。
 R4めざそう値とは11.2ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-4

新規住宅着工数

指標の推移とめざそう値



■出典：都市整備部都市政策課

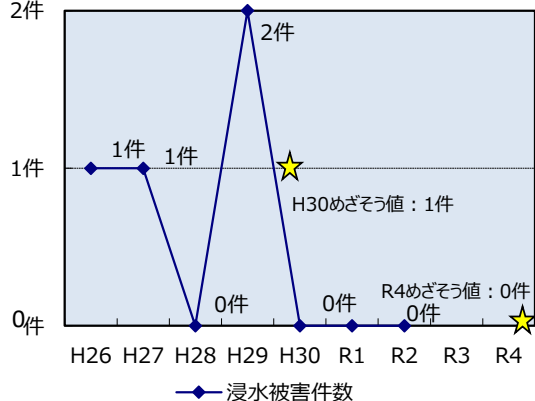
【定義】 市内新規住宅着工数
 【動き】 前回と比べて、42件減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。
 また、R4めざそう値については、新規着工数のみを対象としている点を鑑み、H30めざそう値よりも低い値としています。

代表指標No.23-5

浸水被害件数

指標の推移とめざそう値



■出典：都市整備部河川課

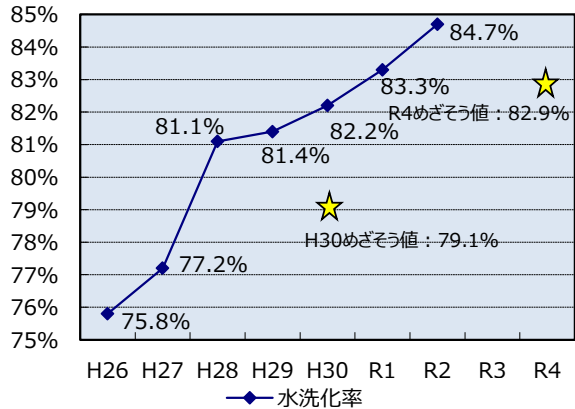
【定義】 市内浸水被害件数
 【動き】 前回と変わらず0件となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

代表指標No.23-6

水洗化率

指標の推移とめざそう値



■出典：上下水道部下水道課

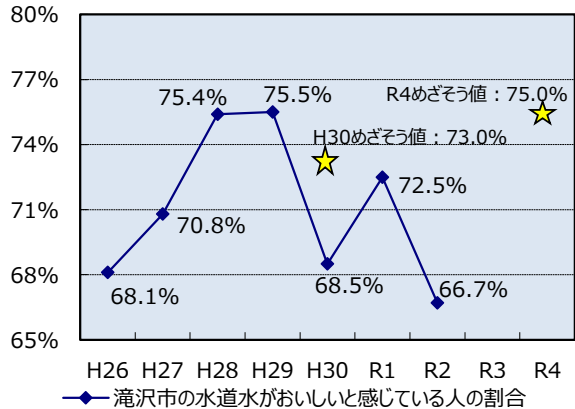
【定義】 水洗化率（行政区域内人口に対する合併処理浄化槽合）
 【動き】 前年度と比べて、1.4ポイント増となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-7

滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

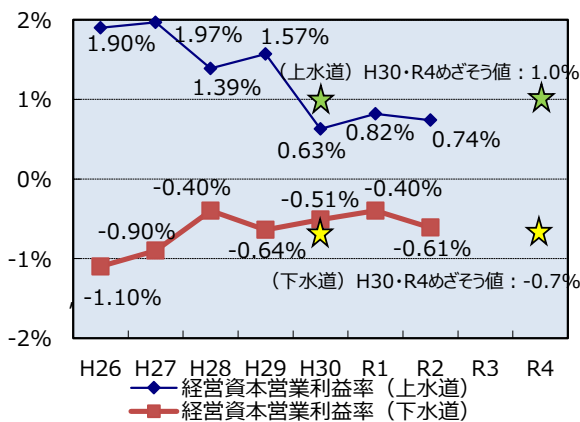
【定義】 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合
 【動き】 前回と比べて、5.8ポイント減となりました。
 R4めざそう値とは8.3ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-8

経営資本営業利益率（上水道・下水道）

指標の推移とめざそう値



■出典：上下水道部水道総務課、上下水道部下水道課

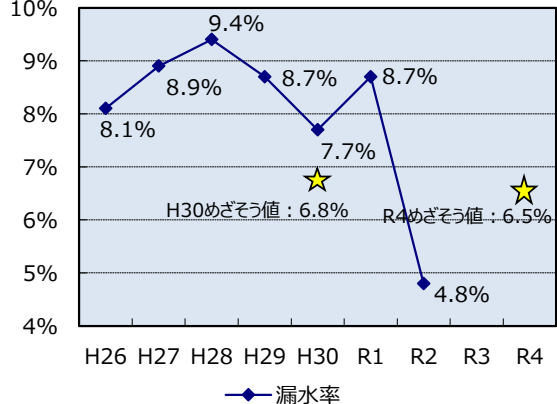
【定義】 上水道・下水道における経営資本営業利益率
 【動き】 前回と比べて、上水道は0.08ポイント減、下水道は0.21ポイント減となりました。
 R4めざそう値については、上水道で0.26ポイントの差がある状態であり、下水道では達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。

代表指標No.23-9

漏水率

指標の推移とめざそう値



■出典：上下水道部水道整備課

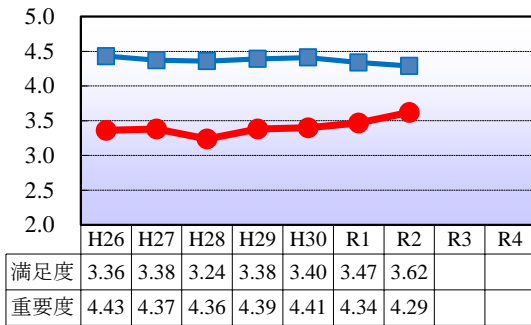
【定義】 市内上水道給水区域における漏水率
 【動き】 漏水調査に基づいて10か所の漏水箇所を修繕したこと等から、前回と比べて、3.9ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.23に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

最適化条件No.24

市役所の仕事は信頼できる

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

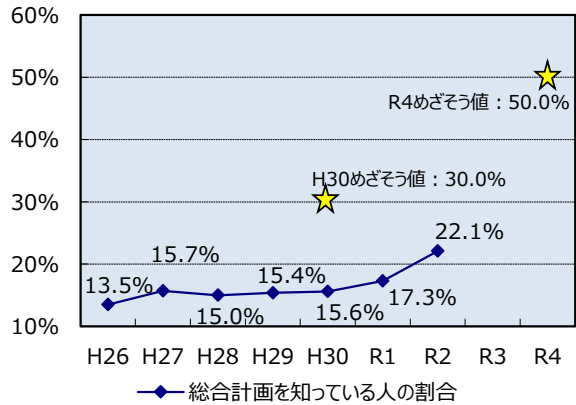
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.15ポイント増、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.67ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.24-1

総合計画を知っている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



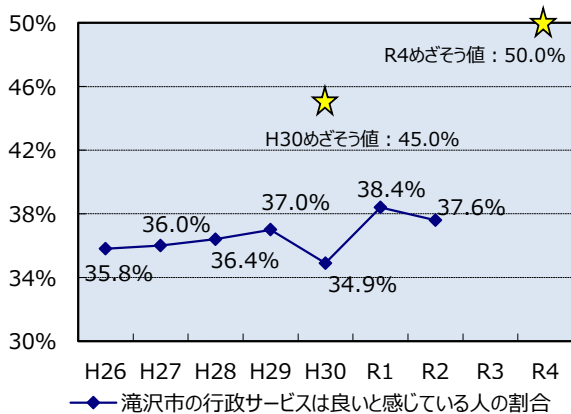
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 滝沢市の総合計画を知っている人の割合
【動き】 前回と比べて、4.8ポイントの増となりました。R4めざそう値とは27.9ポイントの大きな差がある状態です。

代表指標No.24-2

滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

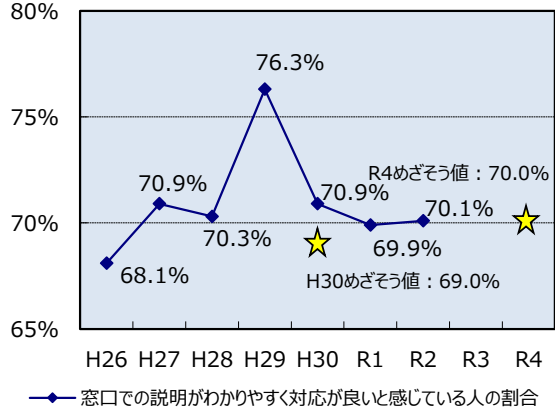
【定義】 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、0.8ポイント減となりました。R4めざそう値とは12.4ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-3

窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

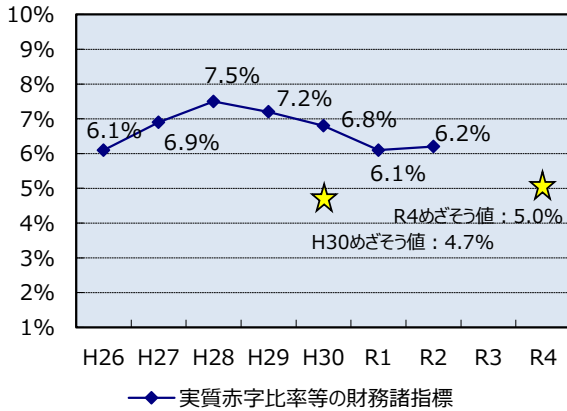
【定義】 市役所窓口での説明が分かりやすく対応が良いと感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、0.2ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-4

実質赤字比率等の財務諸指標

■ 指標の推移とめざそう値



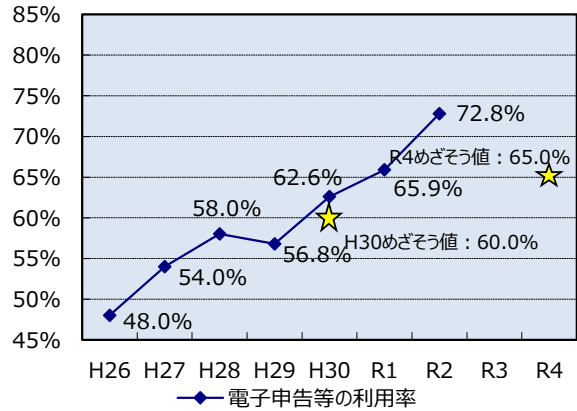
【定義】 実質公債費比率
 【動き】 前回と比べて、0.1ポイント増となりました。
 R4めざそう値とは1.2ポイントの差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

代表指標No.24-5

電子申告等の利用率

■ 指標の推移とめざそう値



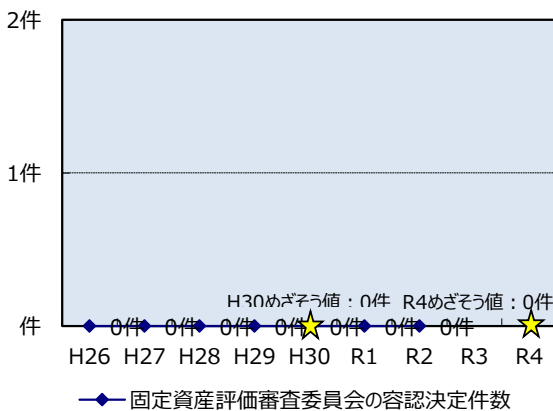
【定義】 法人・給報等総数に対するeLTAX使用の割合
 【動き】 前回と比べて、6.9ポイント増となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-6

固定資産評価審査委員会の容認決定件数

■ 指標の推移とめざそう値



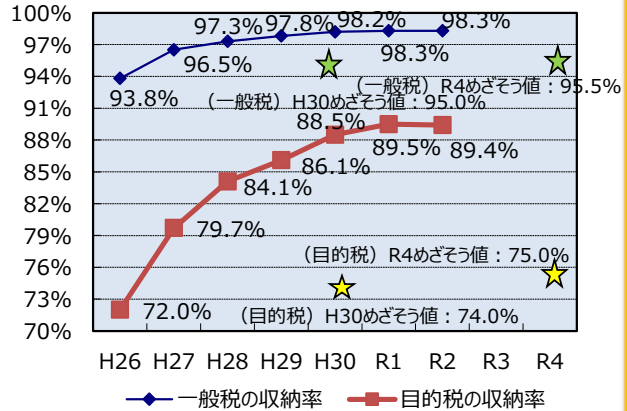
【定義】 固定資産評価審査委員会の容認決定件数
 【動き】 前回と変わらず0件となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-7

一般税・目的税の収納率

■ 指標の推移とめざそう値



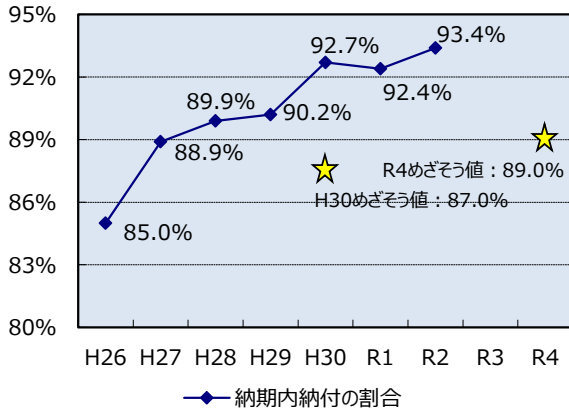
【定義】 一般税・目的税の収納率
 【動き】 前回と比べて、一般税は変わらず、目的税は0.1ポイント減となりました。
 R4めざそう値はいずれも達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-8

納期内納付の割合

■ 指標の推移とめざそう値



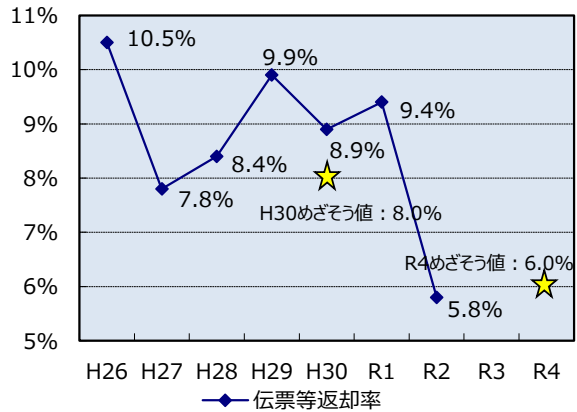
【定義】 税込総額のうち、納期限内に収められた金額の割合
 【動き】 前回と比べて、1.0ポイント増となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-9

伝票等返却率

■ 指標の推移とめざそう値



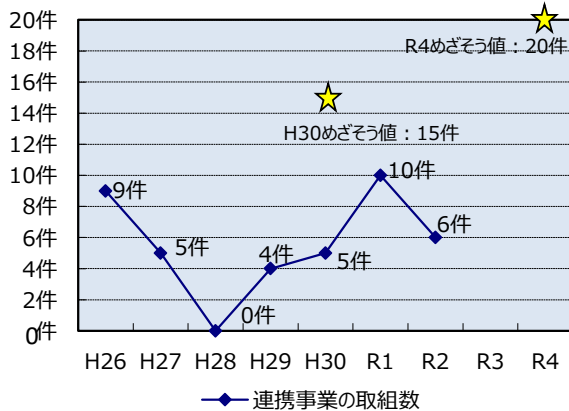
【定義】 審査件数に対する返却件数の割合
 【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響による事務の減により伝票が減少したこと等から、前回と比べて、3.6ポイント減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標です。

代表指標No.24-10

連携事業の取組数

■ 指標の推移とめざそう値



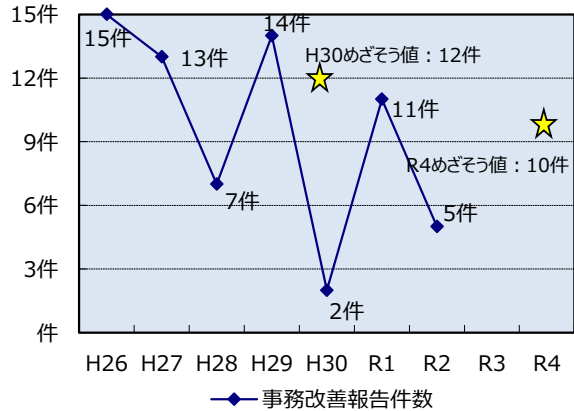
【定義】 連携事業件数
 【動き】 前回と比べて、4件減となりました。
 R4めざそう値とは14件の大きな差があります。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

代表指標No.24-11

事務改善報告件数

■ 指標の推移とめざそう値



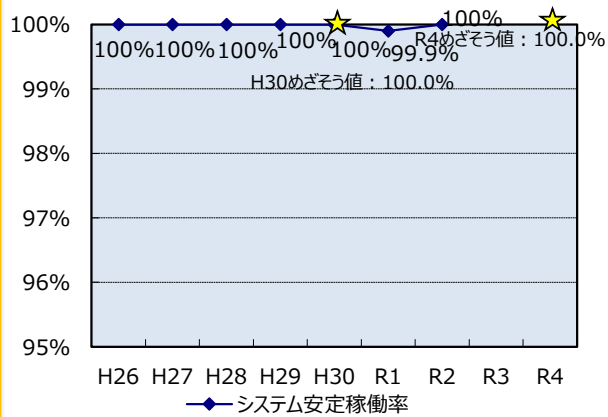
【定義】 事務改善報告件数
 【動き】 前回と比べて、6件減となりました。
 R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。
 ※減少した方が望ましい指標となります。

○ 代表指標No.24-12

システム安定稼働率

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：企画総務部情報システム課

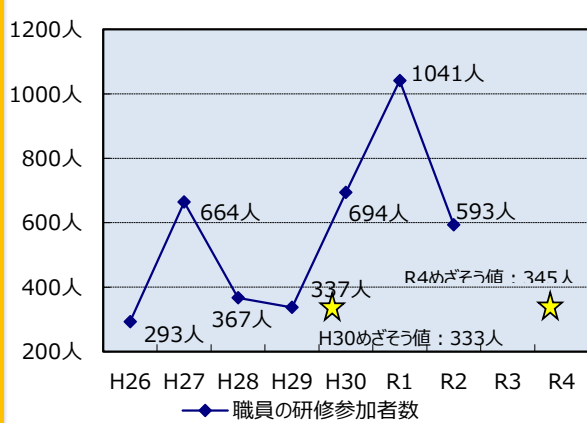
- 【定義】 住民情報システムの安定稼働率（稼働実績／稼働予定時間）
- 【動き】 前回と比べて、0.1ポイント増となりました。R4めざそう値とは達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

○ 代表指標No.24-13

職員の研修参加者数

■ 指標の推移とめざそう値



■出典：企画総務部総務課

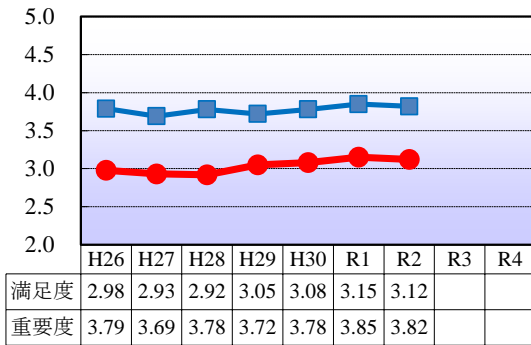
- 【定義】 庁内研修への参加職員数
- 【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により各種研修会が中止となったこと等から、前回と比べて、448人減となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.24に関連する代表指標です。

最適化条件No.25

自ら学んだり、取り組める環境がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

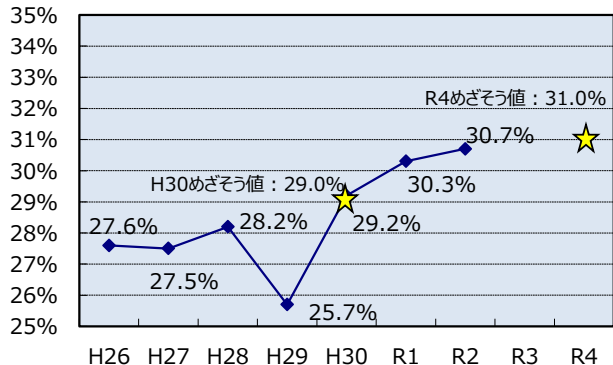
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度及び重要度共に0.03ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.70ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.25-1

趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

指標の推移とめざそう値



● 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合

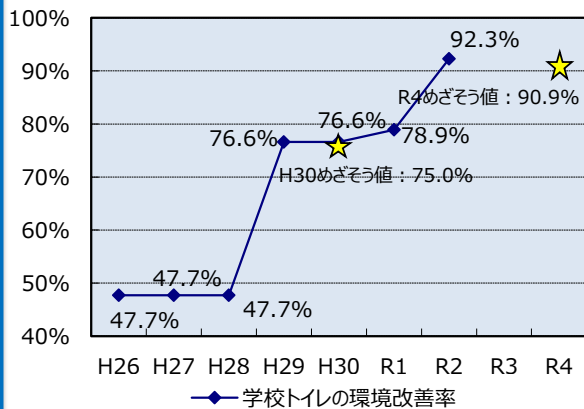
【動き】 前回と比べて、0.4ポイント増となりました。

R4めざそう値とは0.3ポイントの差がある状態です。

代表指標No.25-2

学校トイレの環境改善率

指標の推移とめざそう値



■ 出典：教育委員会事務局教育総務課

【定義】 市内小中学校におけるトイレの洋式化率

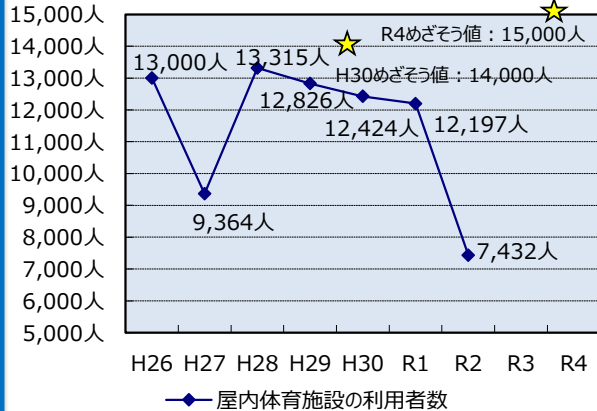
【動き】 前回と比べて、13.4ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

代表指標No.25-3

屋内体育施設の利用者数

指標の推移とめざそう値



■ 出典：教育委員会事務局生涯学習スポーツ課

【定義】 市内屋内体育施設の月平均利用者数

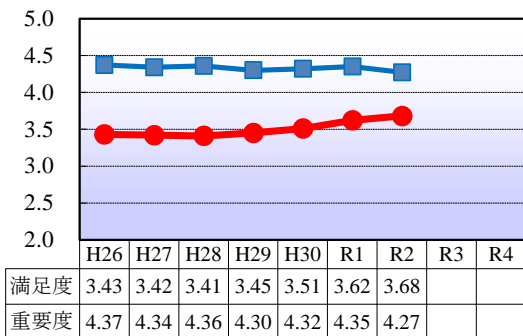
【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により、前回と比べて、4,765人減となりました。R4めざそう値とは7,568人の大きな差がある状態です。

【備考】 最適化条件No.25に関連する代表指標です。

最適化条件No.26

子ども達が生き生きとしている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

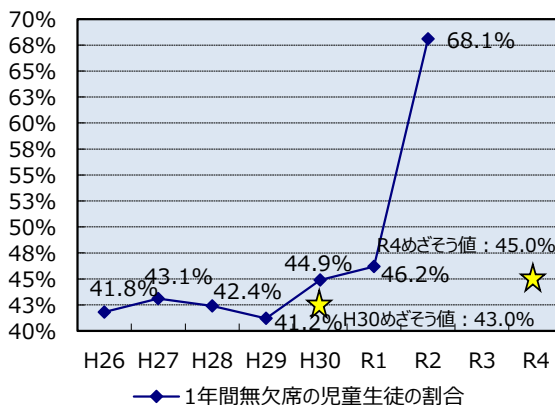
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント増、重要度は0.08ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.59ポイントと、市民ニーズの推移としては減少傾向にあります。

代表指標No.26

1年間無欠席の児童生徒の割合

指標の推移とめざそう値



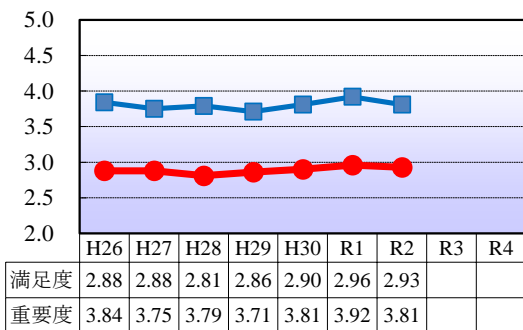
■出典：教育委員会事務局学校教育指導課

【定義】 無欠席であった市内小中学校児童生徒の割合
【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により出席停止となる件数が増加したこと等から、前回と比べて、21.9ポイント増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.27

自分の夢の実現のために取り組むことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

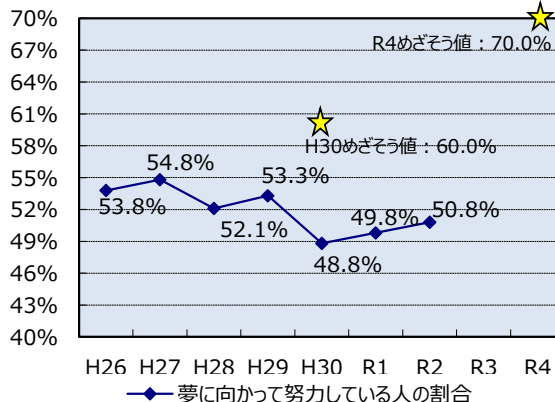
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント減、重要度は0.11ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.88ポイントと、市民ニーズの推移としてはほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.27

夢に向かって努力している人の割合

指標の推移とめざそう値



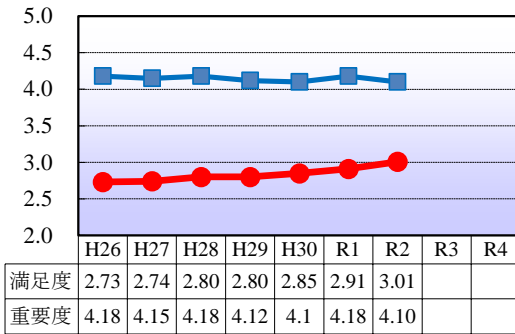
■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 夢に向かって努力している人の割合
【動き】 前回と比べて、1.0ポイント増となりました。R4めざそう値とは19.2ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.28

子どもたちの体力・学力が向上する

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

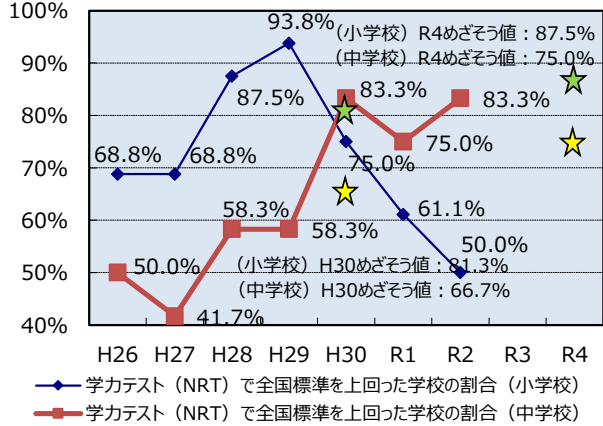
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.1ポイント増、重要度は0.08ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.09ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高いの中おおむね減少傾向にあります。

代表指標No.28

学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校・中学校）

指標の推移とめざそう値



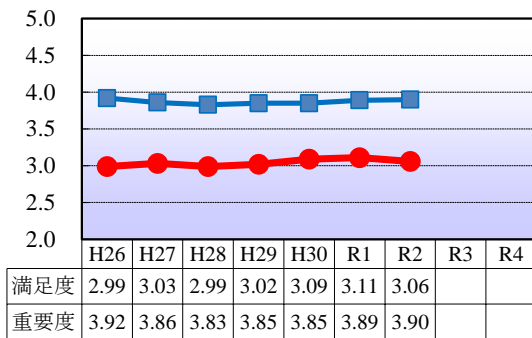
■出典：教育委員会事務局学校教育指導課

【定義】学カテスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合
【動き】前回と比べて、小学校は11.1ポイント減、中学校は8.3ポイント増となりました。
R4めざそう値については、小学校で37.5ポイントの差がある状態であり、中学校で達成している状態です。

最適化条件No.29

地域と学校の間で交流がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たまざわ幸福実感アンケートより

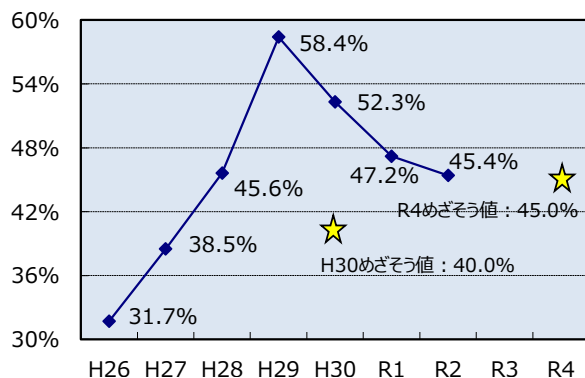
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント減、重要度は0.01ポイント増となりました。満足度と重要度の差は0.84ポイント、市民ニーズとしてもほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.29-1

子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たまざわ幸福実感アンケート

【定義】子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合

【動き】前回と比べて、1.8ポイント減となりました。

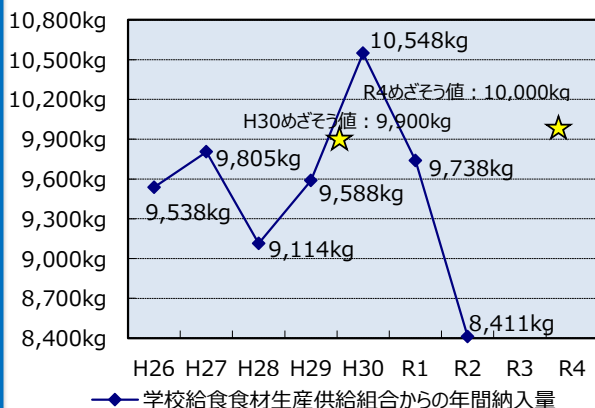
R4めざそう値は達成している状態です。

※H29から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

代表指標No.29-2

学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

指標の推移とめざそう値



■出典：教育委員会学校給食センター調査

【定義】学校給食食材生産供給組合からの年間納入量

【動き】天候不順により農産物の生産量に影響があったことから、前回と比べて、1,327kgの減となりました。

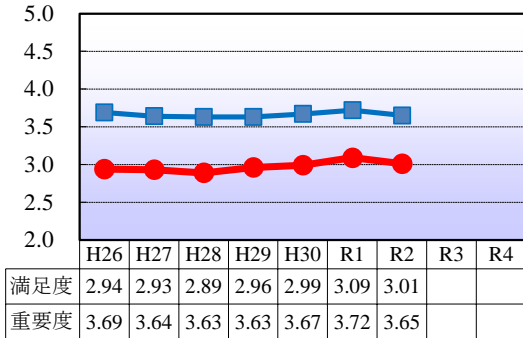
R4めざそう値とは1,589kgの差がある状態です。

【備考】最適化条件No.29に関連する代表指標です。

最適化条件No.30

スポーツに親しむ機会がある

■ 重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

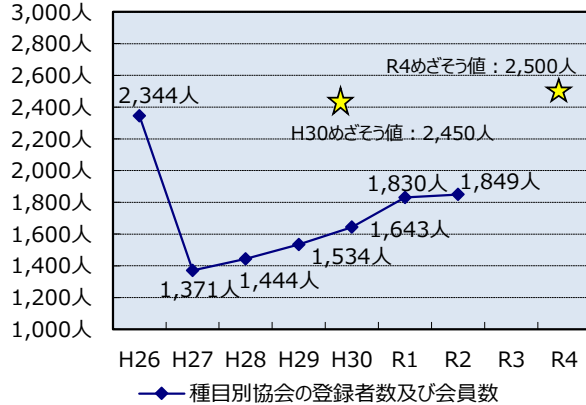
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.08ポイント減、重要度は0.07ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.64ポイント、市民ニーズとしてもほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.30

種目別協会の登録者数及び会員数

■ 指標の推移とめざそう値



【定義】 種目別協会の登録者数及び会員数

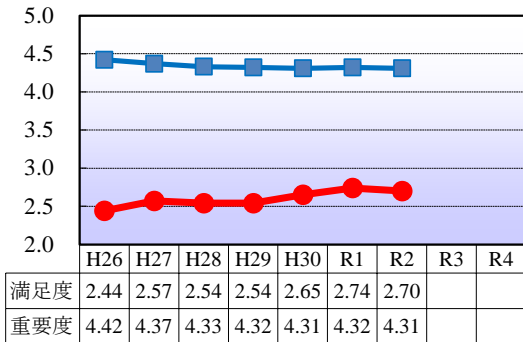
【動き】 前回と比べて、19人増となりました。
R4めざそう値とは651人の差がある状態です。

※H26までは登録者数と会員数を合わせた数としていましたが、H27からは会員数のみとしています。

最適化条件No.31

働く場がある

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

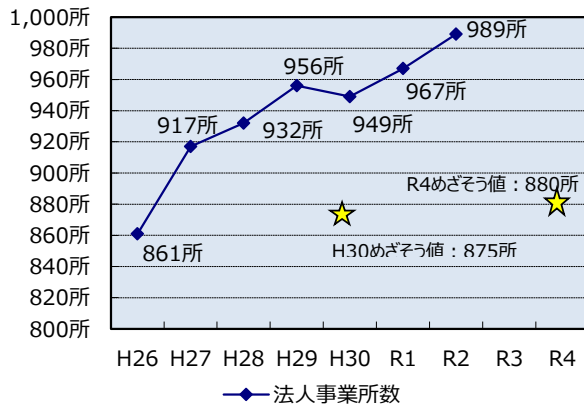
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.04ポイント減、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.61ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.31

法人事業所数

■ 指標の推移とめざそう値



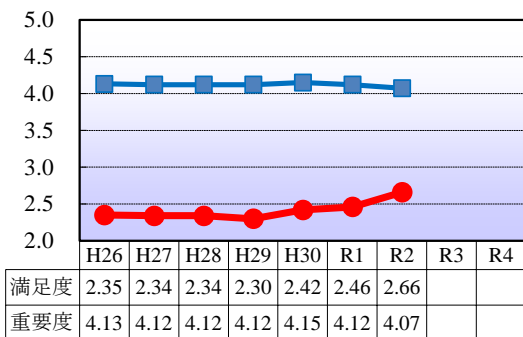
■ 出典：経済産業部企業振興課

【定義】 市内法人事業所数
【動き】 前回と比べて、22所増となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.32

農業の担い手がいる

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

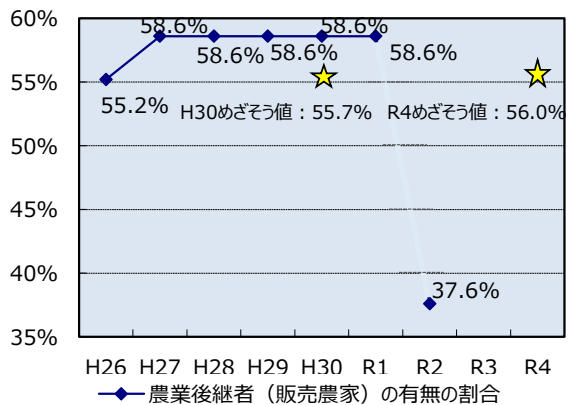
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.2ポイント増、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.41ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中でおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.32

農業後継者（販売農家）の有無の割合

■ 指標の推移とめざそう値



■ 出典：2020年農林業センサス

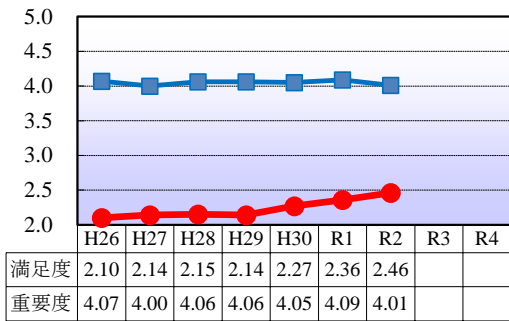
【定義】 農家（販売農家）のうち、後継者がいる農家の割合
【動き】 前回と比べて、21.0ポイント減となりました。R4めざそう値とは18.4ポイントの差がある状態です。

※R2から、参照する農林業センサスにおける項目が異なります。

最適化条件No.33

みんなが自分のやりたい仕事ができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

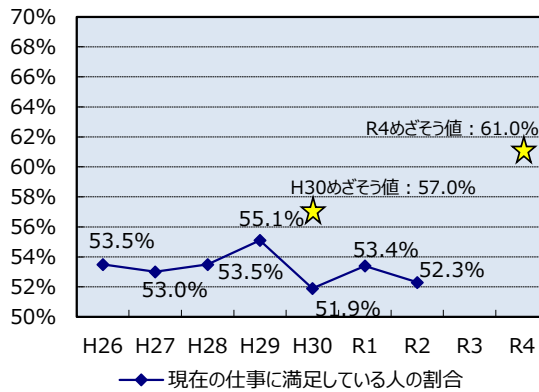
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.1ポイント増、重要度は0.08ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.55ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.33

現在の仕事に満足している人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

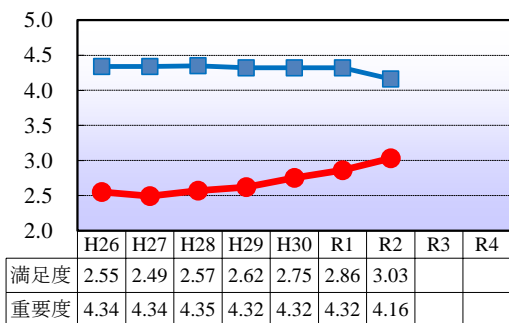
【定義】現在の仕事に満足している人の割合

【動き】前回と比べて、1.1ポイント減となりました。R4めざそう値とは8.7ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.34

子育てしながらでも安心して働くことができる

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

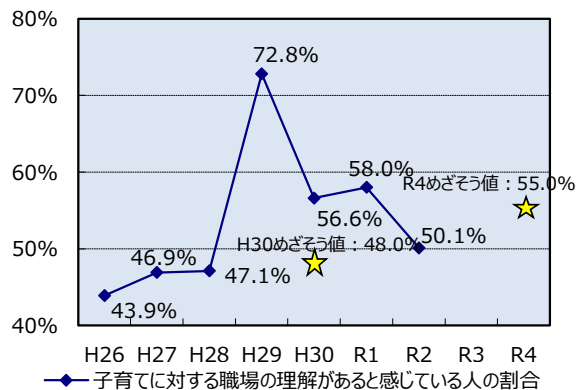
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.17ポイント増、重要度は0.16ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.13ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中で減少傾向にあります。

代表指標No.34

子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】子育てに対して勤務先の理解があると感じる人の割合

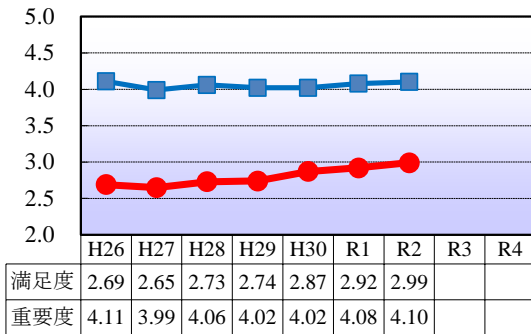
【動き】前回と比べて、7.9ポイント減となりました。R4めざそう値とは4.9ポイントの差がある状態です。

※H29から、回答者を「子育てをしている人」とした設問です。

最適化条件No.35

市の特色を活かした産業がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

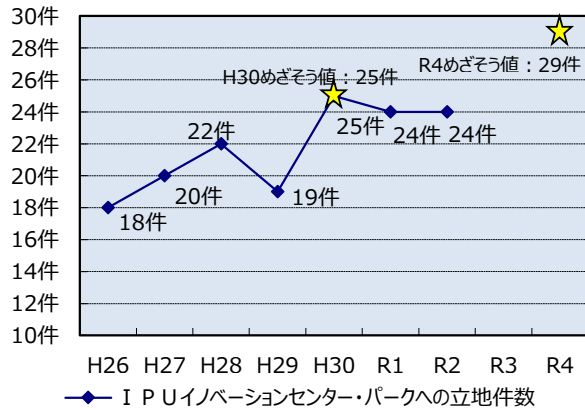
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.07ポイント増、重要度は0.02ポイント増となりました。満足度と重要度の差は1.11ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.35-1

I P Uイノベーションセンター・パークへの立地件数

指標の推移とめざそう値



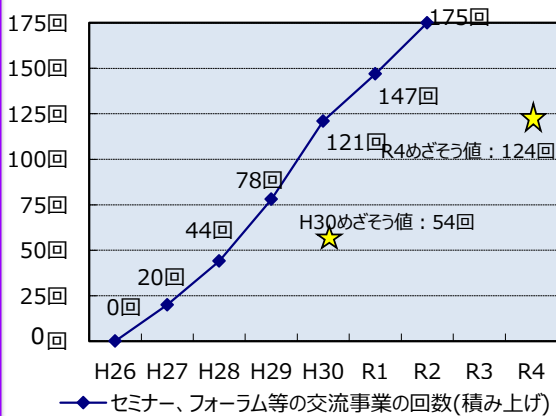
■出典：経済産業部企業振興課

【定義】イノベーションセンター・パークへの入居企業総数
【動き】前回と変わらず24件となりました。
R4めざそう値とは5件の差がある状態です。

代表指標No.35-2

セミナー、フォーラム等の交流事業の回数

指標の推移とめざそう値



■出典：経済産業部企業振興課

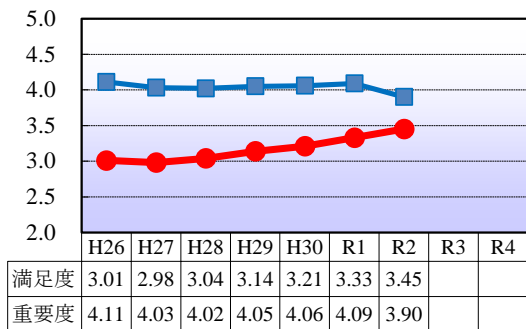
【定義】地域人材育成を目的としたセミナー、フォーラム等交流事業数
【動き】前回と比べて、28回増となりました。
R4めざそう値は達成した状態です。

【備考】最適化条件No.35に関連する代表指標です。
この指標は、積み上げの回数を表しています。

最適化条件No.36

地場産品が広く販売されている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たぎざわ幸福実感アンケートより

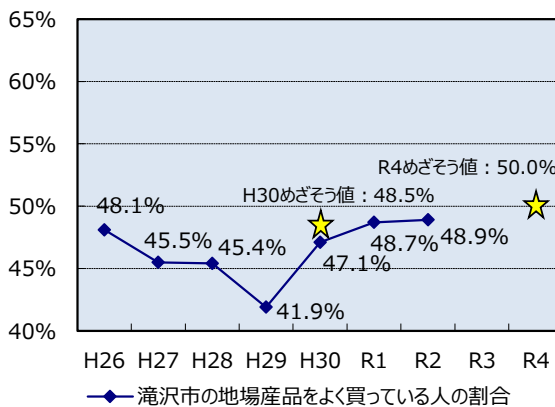
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.12ポイント増、重要度は0.19ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.45ポイントと、市民ニーズとしては比較的低い水準の中で減少傾向にあります。

代表指標No.36

滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合

指標の推移とめざそう値



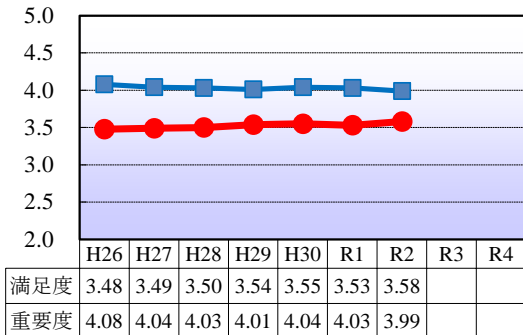
■ 出典：令和2年度たぎざわ幸福実感アンケート

【定義】 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合
【動き】 前回と比べて、0.2ポイント増となりました。R4めざそう値とは1.1ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.37

文化・伝統が受け継がれている

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

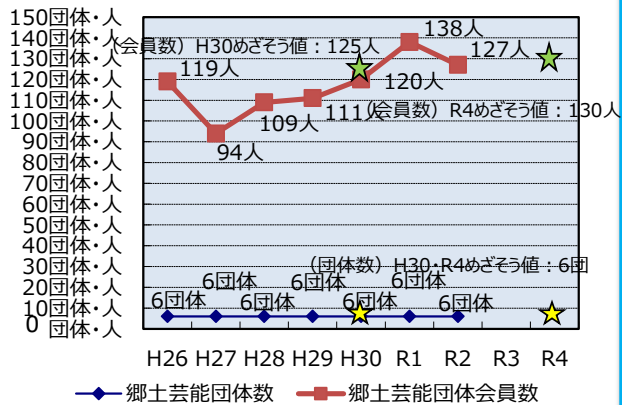
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.05ポイント増、重要度は0.04ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.41ポイントと、市民ニーズとしては比較的低い水準の中でおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.37

郷土芸能団体数及び会員数

指標の推移とめざそう値



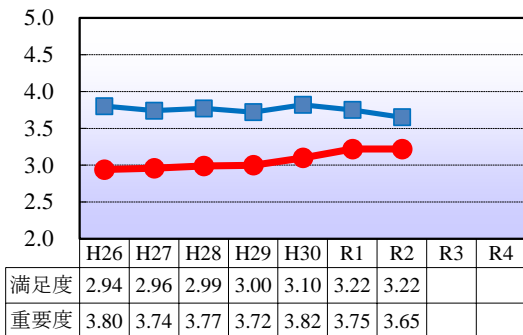
■出典：教育委員会事務局文化振興課

【定義】 郷土芸能の継承を目的とする団体数と、団体の会員のうち青少年の人数
【動き】 前回と比べて、団体数は変わらず6団体、会員数は11人減となりました。
R4めざそう値については、団体数で達成している状態にあり、会員数で3人の差がある状態です。

最適化条件No.38

文化・伝統や芸術に親しむ機会がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

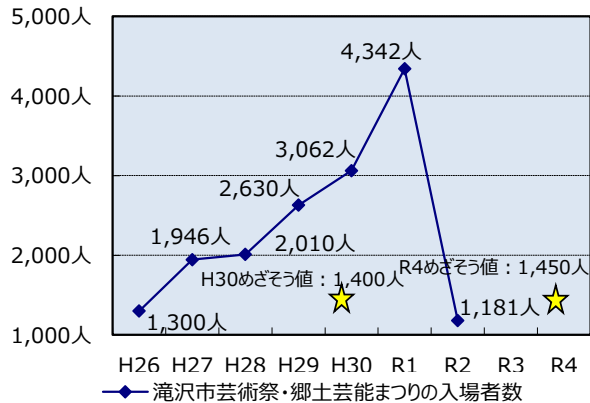
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は変わらず、重要度は0.1ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.43ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中で減少傾向にあります。

代表指標No.38

滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数

指標の推移とめざそう値



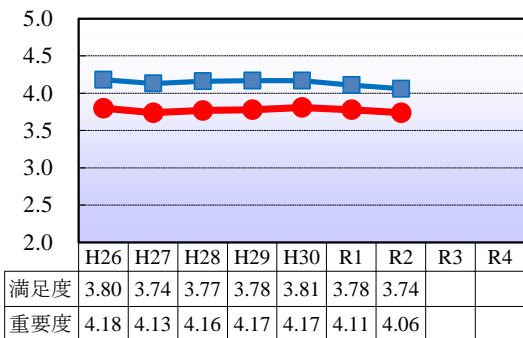
■出典：教育委員会事務局文化振興課

【定義】 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数
【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により行事が中止となったこと等から、前回と比べて、3,161人の大幅な減となりました。
R4めざそう値とは269人の差がある状態です。

最適化条件No.39

チャグチャグ馬コの知名度が活かされている

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

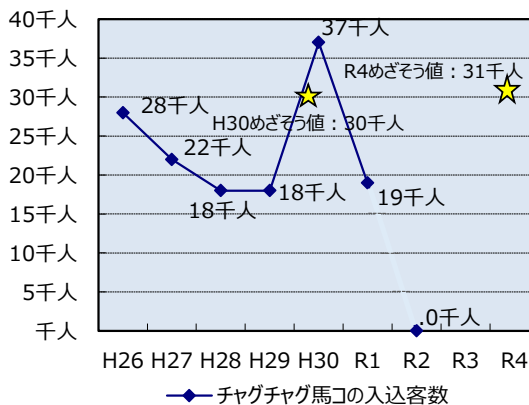
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.04ポイント減、重要度は0.05ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.32ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中でほぼ横ばいの状態です。

代表指標No.39

チャグチャグ馬コの入込客数

■ 指標の推移とめざそう値



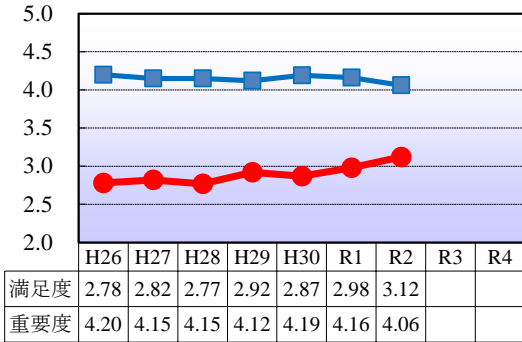
■ 出典：経済産業部観光物産課

- 【定義】 チャグチャグ馬コにおける入込客人数
- 【動き】 新型コロナウイルス感染症の影響により行事が中止となったことから、前回と比べて、19千人の大幅な減となりました。R4めざそう値とは31千人の差がある状態です。

最適化条件No.40

必要な情報が分かりやすく伝わる

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

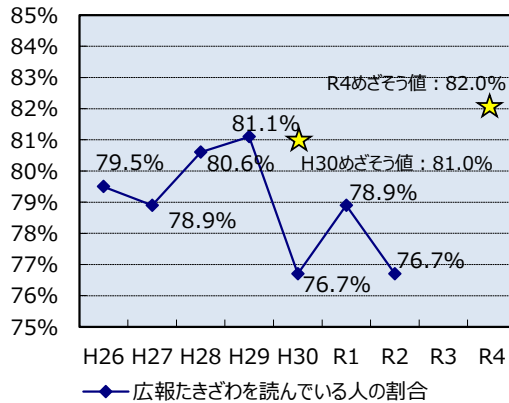
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.14ポイント増、重要度は0.1ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.94と、市民ニーズの推移としては、おおむね減少傾向にあります。

代表指標No.40

広報たきざわを読んでいる人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



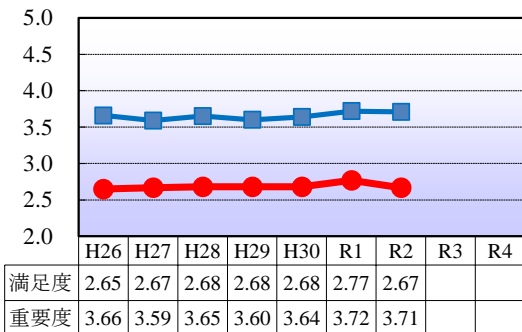
■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 広報たきざわを読んでいる人の割合
【動き】 前回と比べて、2.2ポイント減となりました。R4めざそう値とは5.3ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.41

同じ目的を持った人との交流がある

■ 重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

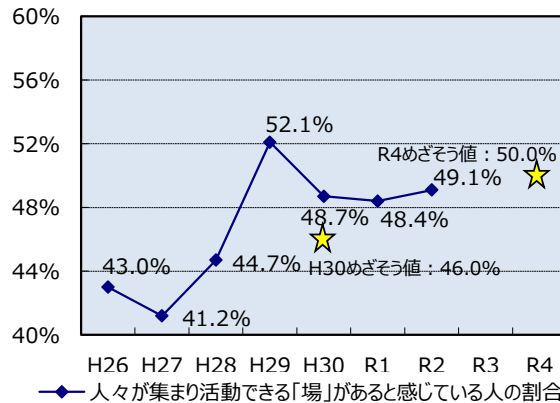
■ 重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.1ポイント減、重要度は0.01ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.04ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.41

人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合

■ 指標の推移とめざそう値



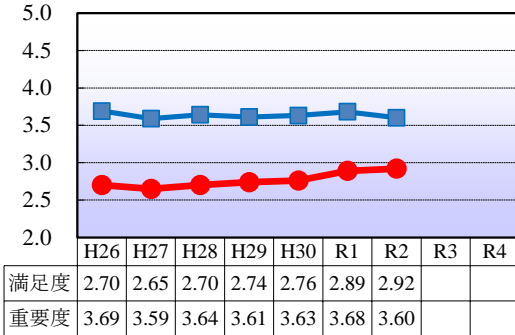
■ 出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

【定義】 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合
【動き】 前回と比べて、0.7ポイント増となりました。R4めざそう値とは0.9ポイントとの差がある状態です。

最適化条件No.42

地域間での交流がある

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

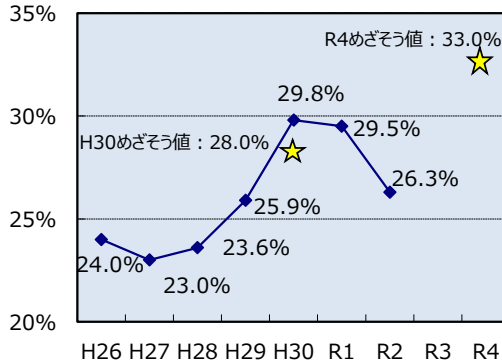
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度が0.03ポイント増、重要度は0.08ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.68ポイントと、市民ニーズとしては減少傾向にあります。

代表指標No.42

ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

指標の推移とめざそう値



◆ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合

■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

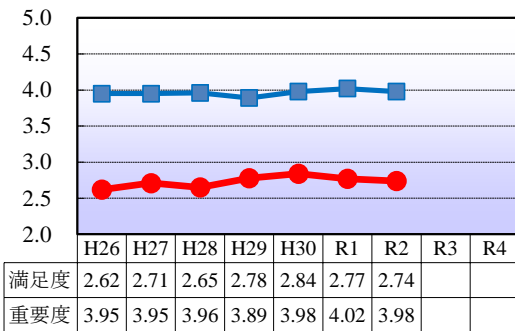
【定義】ここ一年で滝沢市内の自分が住んでいる地域以外の行事に参加した人の割合

【動き】前回と比べて、3.2ポイント減となりました。R4めざそう値とは6.7ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.43

必要な時に欲しい情報が得られる

重要度・満足度の推移



●…満足度、■…重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

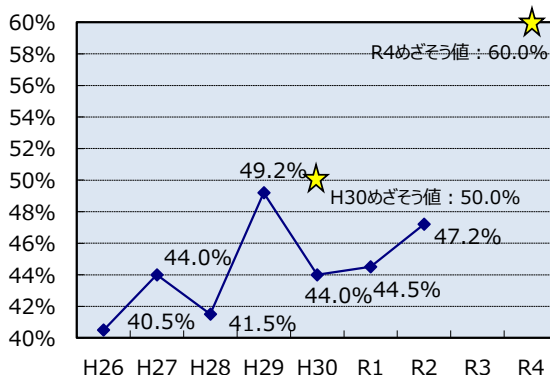
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.03ポイント減、重要度は0.04ポイント減となりました。満足度と重要度の差は1.24ポイントと、市民ニーズとしては比較的高い水準の中でほぼ横ばいとなっています。

代表指標No.43

普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

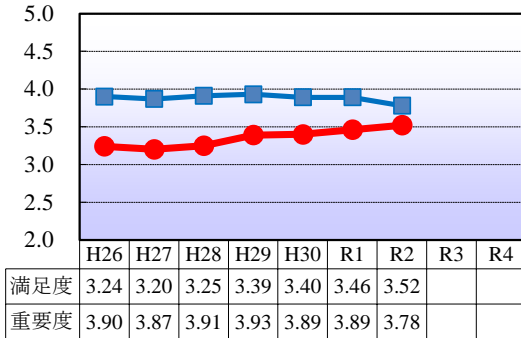
【定義】普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合

【動き】前回と比べて、2.7ポイント増となりました。R4めざそう値とは12.8ポイントの差がある状態です。

最適化条件No.44

人々が集まり活動できる場所がある

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

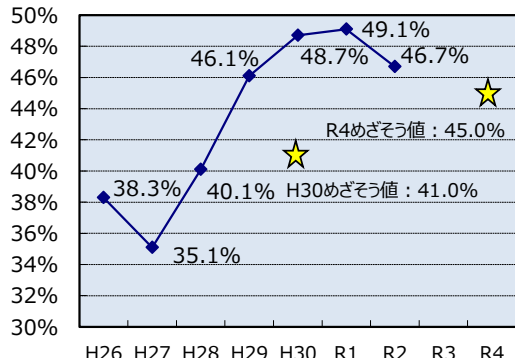
重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.06ポイント増、重要度は0.11ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.26ポイントと、市民ニーズの推移としては比較的低い水準の中で減少傾向にあります。

代表指標No.44

人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

指標の推移とめざそう値



◆人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

■出典：令和2年度たきざわ幸福実感アンケート

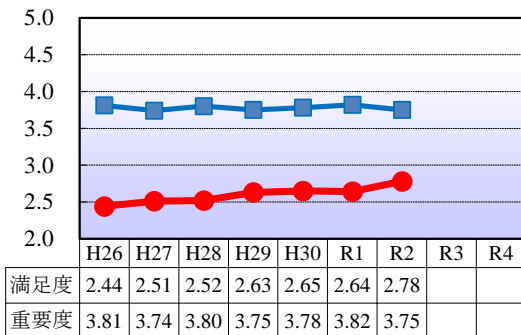
【定義】人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合

【動き】前回と比べて、2.4ポイント減となりました。R4めざそう値は達成している状態です。

最適化条件No.45

地域や世代を超えて市全体がつながっている

重要度・満足度の推移



●・・・満足度、■・・・重要度
令和2年度たきざわ幸福実感アンケートより

重要度・満足度の分析と市民ニーズの把握

前回と比べて、満足度は0.14ポイント増、重要度は0.07ポイント減となりました。満足度と重要度の差は0.97ポイントと、市民ニーズの推移としてはおおむね減少傾向にあります。

代表指標No.45

市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

指標の推移とめざそう値



◆市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

■出典：教育委員会事務局生涯学習スポーツ課

【定義】平成27年度における市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数

【動き】前回と比べて、152人増となりました。R4めざそう値とは2,220人の大きな差がある状態です。

※H26はスポーツフェスティバル後のオープニングアトラクション参加者数も加算していましたが、H27から変更しています。

参 考

第1次滝沢市総合計画基本構想 主要統計データの動き

総合計画基本構想内の「主要統計データ」について、総合計画策定時と今回の報告書作成時とのデータの動きを一覧にまとめています。
一覧表内「動き」の見方については、以下のとおりです。
「ー」…策定時から最新データが更新されていない
「↗」…策定時よりデータの数値が増加している
「↘」…策定時よりデータの数値が減少している
「＝」…策定時からデータは更新されているが、数値が変動していない
※各課名については、本報告書作成時である令和3年10月現在の名称を記載しています。

参考
第1次滝沢市総合計画基本計画主要統計データの動き

NO.	指 標	一次資料 (原典)	総合計画策定時	年度	動き	最新	年度
活 か す							
1	森林面積	農林業センサス	7,555ha	21年度	=	7,555ha	27年度
2	岩手山登山者数 (滝沢市登山口分)	観光物産課	11,543人	25年度	↘	8,711人	2年度
3	グリーン・ツーリズム関連施設利用状況	農林課	1,694人	24年度	↘	105人	2年度
支 え 合 う							
4	ごみ排出量 (1人1日当たり)	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	931g	24年度	↘	885g	元年度
5	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」	26.40%	24年度	↘	25.70%	元年度
6	交通事故発生件数	岩手県「交通統計」	108件	25年	↘	62件	元年度
7	交通事故死傷者数	岩手県「交通統計」	137人	25年	↘	78人	元年度
8	刑法犯認知件数	岩手県警察本部「犯罪統計」	175件	25年	↘	122件	元年度
9	火災出火件数(人口1万人当たり)	岩手県防災消防年報	1.65件	25年	↗	1.99件	元年度
10	単身世帯比率	総務省「国勢調査報告書」	24.77%	22年度	↗	27.22%	27年度
11	1人暮らしの高齢者世帯比率	総務省「国勢調査報告書」	4.87%	22年度	↗	6.54%	27年度
12	3世代世帯割合	総務省「国勢調査報告書」	7.87%	22年度	↗	8.87%	27年度
13	人口自然増加数、社会増加数	総務省「国勢調査報告書」	145人(自然) / 202人(社会)	22年度	↘	29人(自然) / △51人(社会)	27年度
14	婚姻率・離婚率(人口千人当たり)	厚生労働省「人口動態調査」	5.0%(婚) / 1.72%(離)	24年	-	4.2%(婚) / 2.03%(離)	元年
15	自主防災組織の活動参加者数	防災防犯課	2,625人	25年度	↘	362人	2年度
16	自主防災組織率	防災防犯課	96.70%	26年度	↗	100.00%	2年度
17	消防団員充足率	防災防犯課	84.05%	26年度	↘	72.38%	2年度
18	転入・転出口比率 (転入・転出者数/3月末人口)	市民課	転入5.87%、転出5.23%	25年度	↘	転入4.63%、転出4.14%	2年度
19	自治会加入率	地域づくり推進課	81.15%	25年度	↘	79.35%	2年度
20	NPO団体数	地域づくり推進課	12団体	25年度	=	12団体	2年度
21	スクールガード登録者数	学校教育指導課	354人	25年度	↘	313人	2年度
輝 <							
22	出生数、出生率 (人口千人当たり)	保健福祉年報 (人口動態編)	518人 / 9.5人	24年	↘	395人 / 7.1人	元年
23	死亡数、死亡率 (人口千人当たり)	保健福祉年報 (人口動態編)	373人 / 6.8人	24年	↗	457人 / 8.2人	元年
24	乳児死亡率 (出生千人当たり)	保健福祉年報 (人口動態編)	1.90人	24年	↗	2.50人	元年
25	高齢化率	総務省「国勢調査報告書」	16.97%	22年度	↗	21.38%	27年度
26	老年化指数 (65歳以上人口÷年少人口×100)	総務省「国勢調査報告書」	113.38%	22年度	↗	148.78%	27年度
27	老年人口指数 (65歳以上人口÷生産年齢人口×100)	総務省「国勢調査報告書」	24.90%	22年度	↗	33.58%	27年度
28	平均寿命	厚生労働省「市区町村別生命表の概況」	男79.6歳 / 女86.7歳	22年	↗	男80.1歳 / 女86.7歳	27年
29	自殺者数、自殺率 (人口10万人当たり)	保健福祉年報 (人口動態編)	11人 / 20.1人	24年度	↘	8人 / 14.4人	元年
30	悪性新生物死亡者数	保健福祉年報 (人口動態編)	102人	24年度	↗	129人	元年
31	脳血管疾患死亡者数	保健福祉年報 (人口動態編)	57人	24年度	↗	61人	元年
32	病院・一般診療所数	厚生労働省「医療施設調査」	病院 2施設 一般診療所 27施設	23年	↘	病院 2施設 一般診療所 25施設	29年
33	病院・一般診療所医師数	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」	31人	24年	↗	34人	29年
34	病院・一般診療所病床数	厚生労働省「医療施設調査」	病院 329床 一般診療所 36床	25年	↘	病院 230床 一般診療所 10床	29年
35	ファミリー・センター登録者数	児童福祉課	547人	25年度	↗	589人	2年度
36	ファミリー・センター利用者数	児童福祉課	1,057人	25年度	↘	81人	2年度
37	保育所入所定員数	児童福祉課	1,218人	26年度	↗	1,506人	2年度
38	保育所・子ども園入所待機児童数	児童福祉課	8人	26年度	↘	7人	2年度
39	放課後児童クラブ数	児童福祉課	16クラブ	26年度	↗	19クラブ	2年度
40	介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	介護老人福祉施設 123人 介護老人保健施設 196人	25年度	↗	介護老人福祉施設 183人 介護老人保健施設 295人	2年
41	介護老人福祉施設数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	2施設	25年度	↗	3施設	2年
42	身体障害者更正援護施設数	厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」	0施設	25年度	=	0施設	29年度
43	胃腸病検診受診率	健康推進課	32.30%	25年度	↘	26.70%	2年度
44	大腸がん検診受診率	健康推進課	32.60%	25年度	↘	31.70%	2年度
45	肺がん検診受診率	健康推進課	34.80%	25年度	↘	34.20%	2年度
46	老人福祉費 (人口1人当たり)	高齢者支援課	9,499円	25年度	↗	12,150円	2年度
47	要介護者認定率	高齢者支援課	16.79%	25年度	↘	15.20%	2年度
48	国民健康保険医療費 (1人当たり)	保険年金課	329,324円	25年度	↗	372,235円	2年度
49	後期高齢者医療費 (1人当たり)	保険年金課	861,507円	24年度	↗	865,085円	元年度
50	特定健康診査受診率 (国保)	保険年金課	43.30%	24年度	↗	46.70%	2年度
51	健康教室参加延べ人数	市勢統計	1,786人	24年度	↗	3,819人	元年度
52	健康相談参加延べ人数	市勢統計	1,846人	24年度	↗	2,401人	元年度

参考
第1次滝沢市総合計画基本計画主要統計データの動き

NO.	指標	一次資料(原典)	総合計画策定時	年度	動き	最新	年度
活かす							
53	持ち家の割合	総務省「国勢調査報告書」	70.82%	22年度	↘	70.10%	27年度
54	延べ面積□(1住宅当たり)	総務省「住宅土地統計調査」	105.75㎡	25年度	↗	113.78㎡	30年度
55	公園総面積	市勢統計	38.05ha	25年度	↗	38.55ha	2年度
56	下水道処理人口普及率	市勢統計	57.60%	24年度	↗	69.45%	2年度
57	水洗化人口	岩手県HP	42,880人	25年度	↗	47,933人	2年度
58	水洗化率	岩手県HP	77.90%	25年度	↗	86.40%	元年度
59	市町村道舗装率	市勢統計	85.10%	24年度	↗	85.80%	元年度
60	世帯あたり自家用乗用車普及台数(乗用車・軽自動車(4輪)合計/年度末世帯数)	市勢統計	1.595台	24年度	↘	1.584台	元年度
61	汚水処理人口普及率	岩手県「汚水処理人口普及状況」	79.8%	25年度	↗	87.9%	2年度
62	市道路線数	市勢統計	1,327路線	24年	↗	1,390路線	2年度
63	新設住宅着工戸数(木造・専用住宅)	市勢統計	215棟	25年	↗	328棟	2年度
64	住宅延べ床面積(木造・専用住宅)	市勢統計	1,771,307㎡	25年	↗	1,931,295㎡	2年度
学ぶ							
65	幼稚園就園率	文部科学省「学校基本調査」	65.40%	26年度	↘	36.10%	2年度
66	高等学校等進学率	文部科学省「学校基本調査」	99.80%	26年度	=	99.80%	2年度
67	大学等進学率	文部科学省「学校基本調査」	53.20%	26年度	↘	48.30%	2年度
68	人材バンク登録者数	生涯学習スポーツ課	72件	25年度	-	※R2から「学びガイド」に統合。	2年度
69	不登校児童・生徒出現率(千人当たり)	学校教育指導課	10.6人	25年度	↗	13.5人	2年度
70	図書館利用者数(図書貸し出し者数)	文化振興課	31,392人	25年度	↗	37,927人	2年度
71	睦大学生数	高齢者支援課	898人	25年度	↘	785人	2年度
働く							
72	労働力率	総務省「国勢調査報告書」	63.80%	22年度	↘	63.29%	27年度
73	完全失業率	総務省「国勢調査報告書」	6.89%	22年度	↘	3.78%	27年度
74	産業分類別就業者数・比率	総務省「国勢調査報告書」	第1次産業 1,374人(5.18%) 第2次産業5,683人(21.46%) 第3次産業19,067人(72.01%)	22年度	↗	第1次産業 1,399人(5.13%) 第2次産業 6,100人(22.35%) 第3次産業 19,792人(72.52%)	27年度
75	女性就業率	総務省「国勢調査報告書」	49.60%	22年度	↗	50.99%	27年度
76	農家数(販売農家数)、農家世帯比率	農林水産省「農林業センサス」	878 / 4.5%	21年度	↘	765 / 3.7%	27年度
77	経営耕地面積(販売農家)	農林水産省「農林業センサス」	2,535ha	21年度	↘	2,349ha	27年度
78	耕作放棄面積(販売農家)	農林水産省「農林業センサス」	88ha	21年度	=	88ha	27年度
79	製造業 事業所数・従業者数	経済産業省「工業統計調査」	44事業所 / 1,650人	24年度	↗	45事業所 / 1,945人	元年
80	製造品出荷額等	経済産業省「工業統計調査」	3,142,614万円	24年度	↗	4,010,042万円	元年
81	商業 事業所数・従業者数	経済産業省「商業統計調査」(経済センサス)	228事業所 / 2,235人	23年度	↗	249事業所 / 2,253人	29年度
82	年間商品販売額	経済産業省「商業統計調査」(経済センサス)	101,463百万円	23年度	↘	71,111百万円	29年度
83	市町村内純生産	岩手県市町村民所得年報	83,569百万円	24年度分	-	—	—
84	市町村民所得□(1人当たり)	岩手県市町村民所得年報	2,342千円	24年度分	↗	2,517千円	30年度
85	課税対象所得額(納税義務者1人当たり)	市町村課税状況等の調	2,520千円	25年度	↗	2,720千円	2年度
86	飲食店数	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	100件	23年度	↘	91件	28年度
87	小売業年間商品販売額	総務省「経済センサス-活動調査」「商業統計調査」	34,815百万円	23年度	↗	37,535百万円	28年度
88	昼夜間人口比率(昼間人口/夜間人口)	市勢統計	86.41%	22年度	↘	86.30%	27年度
受け継ぐ							
89	国・県指定文化財等件数	文化庁HP	国3、県3	25年度	=	国3、県3	2年度
90	市指定文化財件数	文化振興課	15件	25年度	=	15件	2年度
91	チャグチャグ馬コ行進馬数	観光物産課	88頭	25年度	-	※R2は新型コロナウイルス感染症の影響により行事中止。	2年度
92	埋蔵文化財センター来場者数	文化振興課	2,735人	25年度	↘	1,646人	2年度
集う							
93	ふるさと交流館利用者数	生涯学習スポーツ課	110,715人	25年度	↘	49,280人	2年度
94	市公民館利用者数	文化振興課	42,642人	25年度	-	—	—
95	はつらつ元気館利用者数	地域包括支援センター	5,799人	25年度	↘	1,032人	2年度
96	市内屋内体育施設利用者数	生涯学習スポーツ課	164,845人	25年度	↘	89,193人	2年度
その他							
97	市長・市議会議員選挙投票率	岩手県選挙管理委員会HP	市長選挙 51.15%	26年度	-	市長選 51.15%/市議選 58.39%	26年度/元年度
98	財政力指数(3か年平均)	総務省「市町村別決算状況調」	0.55	25年度	↗	0.60	元年度
99	自主財源比率(普通会計)	市勢統計	40.50%	24年度	↘	36.80%	元年度
100	地方税収額	総務省「市町村別決算状況調」	4,872,638千円	25年度	↗	5,399,470千円	元年度



令和3年10月発行

滝沢市企画総務部企画政策課